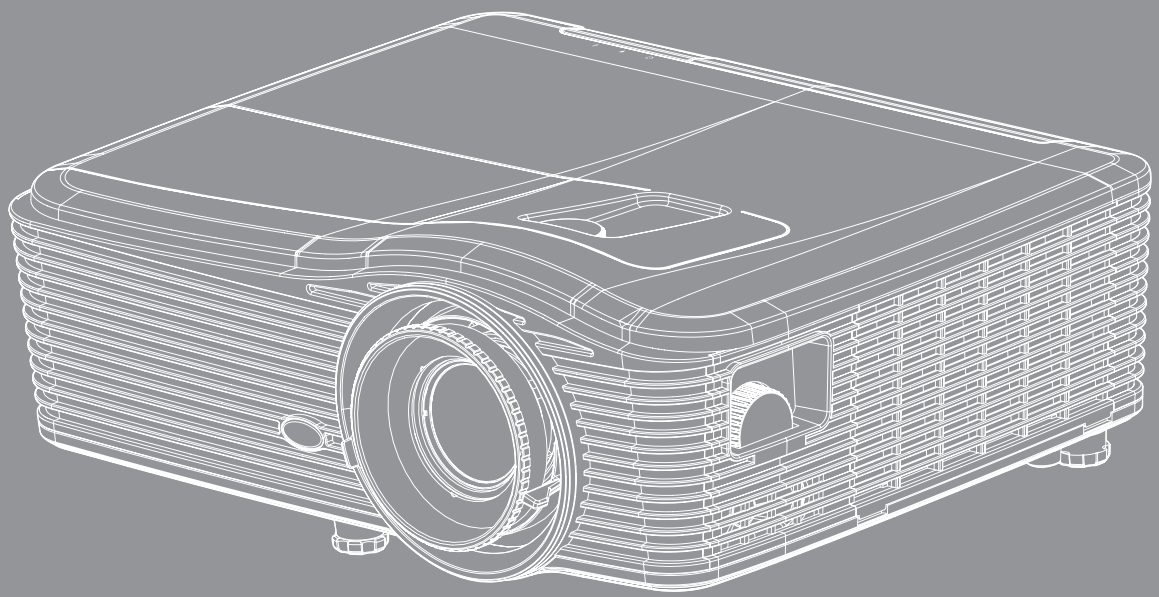
DLP®プロジェクター

WU515T

取扱説明書



ユーザーマニュアル

目次

安全 4

安全に関するご注意 4
3D 安全情報 5
著作権 6
免責条項 6
商標認識 6
FCC 7
EU *諸国への適合宣言* 7
WEEE 7

はじめに 8

パッケージの概要 8
標準アクセサリ 8
製品の各部名称 9
接続 10
キーパッド 11
リモコン 12

設定と設置 13

プロジェクターを設置する 13
ソースをプロジェクターに接続する 14
投写画像の調整 15
リモコンの準備 16

プロジェクターを使用する 18

プロジェクターの電源を入れる/切る 18
入力ソースを選択する 20
メニューナビゲーションと機能 21
OSD *メニューツリー* 22
イメージメニュー 29
イメージの詳細メニュー 31
イメージの詳細 : 信号 (RGB) メニュー 33
イメージの詳細 : 信号 (ビデオ) メニュー 34
ディスプレーメニュー 35
ディスプレーの 3D *メニュー* 39
設定メニュー 40
設定の音声設定メニュー 42
設定のセキュリティメニュー 43
設定のネットワーク : LAN *設定メニュー* 45

設定のネットワーク : コントロール設定メニュー *47*
設定のネットワーク : コントロール設定メニュー *48*
設定の詳細メニュー *54*
オプションメニュー *55*
オプションメニュー *56*
オプションメニュー *57*
オプションのランプ設定メニュー *58*
オプションのリモート設定メニュー *59*
オプションの詳細メニュー *61*
オプションのオプションフィルター設定メニュー *62*
3D*設定* *63*

保守管理 64

ランプの交換 *64*
ランプの交換 (続き) *65*
エアフィルタの取り付けと洗浄 *66*

追加情報 67

対応解像度 *67*
イメージサイズと投写距離 *70*
プロジェクターの寸法と天井取り付け *73*
RS232 *プロトコル機能リスト* *74*
IR*リモートコード* *82*
HDBaseT *84*
情報ボタンを使用する *85*
トラブルシューティング *86*
警告インジケータ *88*
仕様 *90*

付録 91

保証書 91

安全

	このマークは、製品の筐体内部に感電の恐れのある、 絶縁されていない [危険な電圧] が相当な規模 で存在していることをユーザーに警告するものです。
	このマークは、機器に付属するマニュアルに、重要な操作および メンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

安全に関するご注意

- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。

    (i) 室温が 5°C～40°C の範囲に保たれていることを確認します

    (ii) 相対湿度は10%～85%の範囲です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 可燃性ガスや爆発性ガスが空気中に含まれる可能性がある場所でプロジェクターを使用しないでください。プロジェクターの使用中、中のランプが高温になり、ガスが発火し、火災が発生することがあります。
- プロジェクターの動作中に、レンズキャップを取り付けないでください。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです (ただしこれらに限定されません):
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
  - プロジェクターに液体をこぼした。
  - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
  - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で異音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの本体をご覧ください。

- 本機の修理は、適切なサービススタッフに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリーのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- ランプを交換する際は、ユニットの熱が冷めるまでお待ちください。64～65ページに記載の手順に従ってください。
- 本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- ランプ モジュールを交換した場合は、オン スクリーン表示の [オプション|ランプ設定] にある [ランプリセット] 機能を使用してリセットします (58ページ参照) 。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも90秒間、放熱させてください。
- ランプの寿命が近づくと、[ランプの寿命が過ぎています。] というメッセージが画面上に表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレーの本体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注記: *ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクターの電源は入りません。64～65 ページの [ランプの交換] セクションに記載されている手順に従ってランプを交換してください。*

- *振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。*
- *レンズを素手で触らないでください。*
- *保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。*
- *石油または煙草の煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。*
- *プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。*

3D 安全情報

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、 3D 機能をご利用ください。

警告

幼児及び10代の方は3D鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の3D機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに3D画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください:(1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4)眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5)混乱状態、(6)吐き気、(7) 意識喪失、 (8)痙攣、 (9)急激な腹痛、及び (又は) (10) 見当識障害。幼児及び10代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出ていないかお尋ねください。
- 3D映像の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低30分はご使用をお控えください。

- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 映像を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低3倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D眼鏡をかけながらの長時間にわたる3D映像の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D映像の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D映像の鑑賞以外の目的での3D眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための3D眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、 視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D映像の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に3Dプロジェクターを設置しないでください。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© Copyright 2015

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

IBM は International Business Machines, Inc の商標または登録商標です。Microsoft、PowerPoint、Windows は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Adobe と Acrobat は Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link、DLP ロゴは Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は Texas Instruments の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

FCC

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください:

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意:シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCCパート15に準拠しています。運転は、以下の2つの状況を前提とします:

1.本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。

2.本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意:カナダにお住まいのユーザーへ

当Class Bデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国への適合宣言

- EMC 指令2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令2006/95/EC
- R & TTE指令1999/5/EC (製品にRF機能が搭載されている場合)

WEEE



廃棄物についての指示

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルください。

はじめに

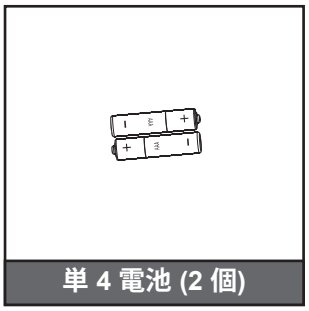
パッケージの概要

慎重に箱から取り出し、下の [標準付属品] に記載されている品目が揃っていることを確認します。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

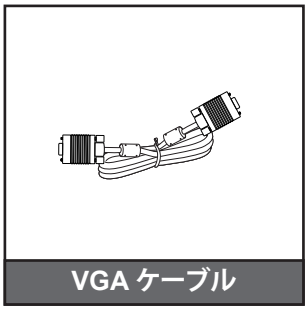
保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

標準アクセサリ


リモコン


単 4 電池 (2 個)


電源コード


VGA ケーブル


レンズキャップ

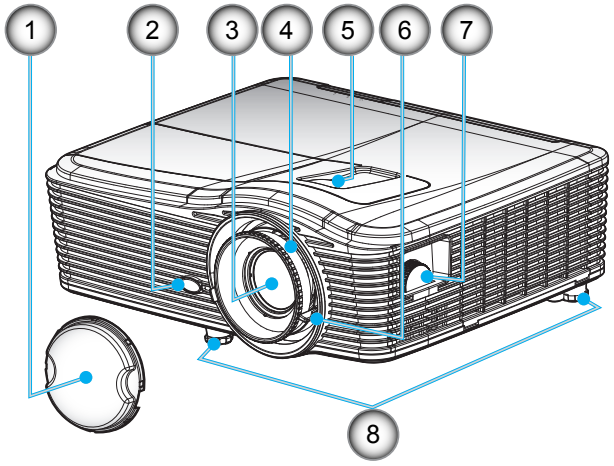
☑ 取扱説明書(保証書)

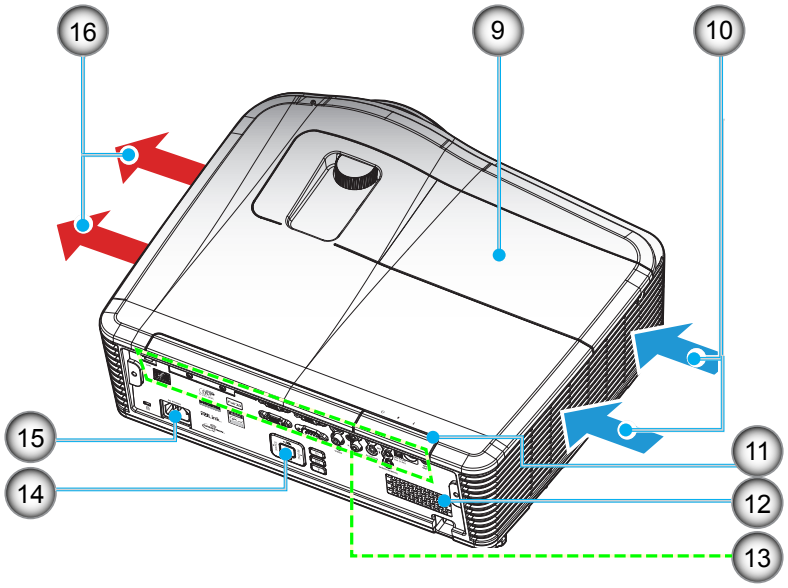
☑ ベーシック
ユーザーマニュアル

文書

はじめに

製品の各部名称



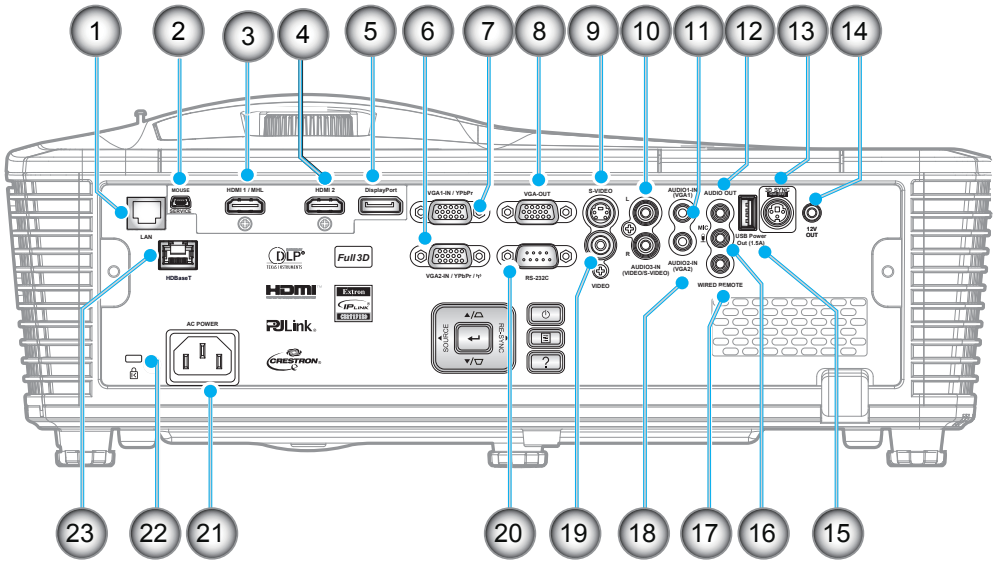


注記: *プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。*

	アイテム		アイテム
1.	レンズキャップ	9.	ランプカバー
2.	IRレシーバー	10.	換気(吸気口)
3.	レンズ	11.	IRレシーバー
4.	フォーカス リング	12.	スピーカ
5.	レンズシフト (縦)	13.	入/出力接続端子
6.	ズームレバー	14.	キーパッド
7.	レンズシフト (横)	15.	電源ソケット
8.	チルト調整フット	16.	換気(排気口)

はじめに

接続

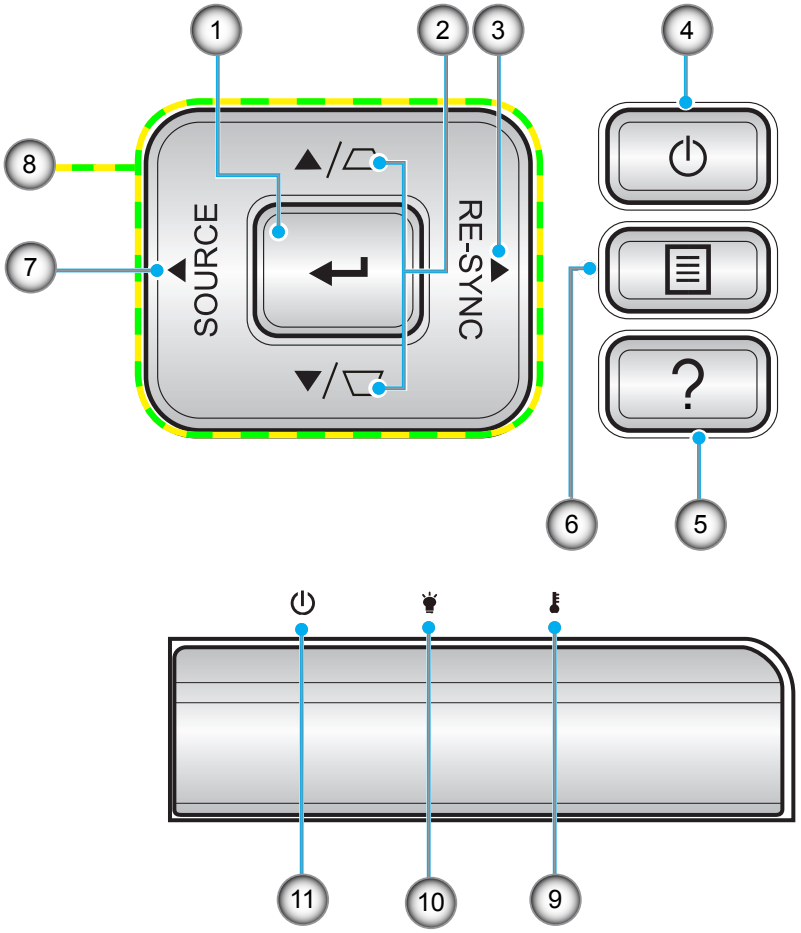


注記: *リモートマウスには特別なリモートが必要です。*

	アイテム		アイテム
1.	LAN(RJ-45)コネクタ	13.	3D 同期出力 (5V) 端子
2.	USB-B ミニ端子 (ファームウェアのアップグレード)	14.	12V トリガーコネクタ
3.	HDMI1/MHL コネクタ	15.	USB 出力 (1.5A) コネクタ
4.	HDMI2 コネクタ	16.	マイクロホンコネクタ
5.	ディスプレーコネクタ	17.	有線リモートコネクタ
6.	VGA2 入力 / YPbPr コネクタ	18.	Audio2-In(VGA2) コネクタ
7.	VGA1 入力 / YPbPr コネクタ	19.	ビデオコネクタ
8.	VGA 出力コネクタ	20.	RS232Cコネクタ
9.	S-ビデオコネクタ	21.	電源ソケット
10.	Audio3-In (ビデオ/S-ビデオ) コネクタ	22.	セキュリティスロット
11.	Audio1-In(VGA1) コネクタ	23.	HDBaseT (RJ-45)
12.	オーディオ出力コネクタ		

はじめに

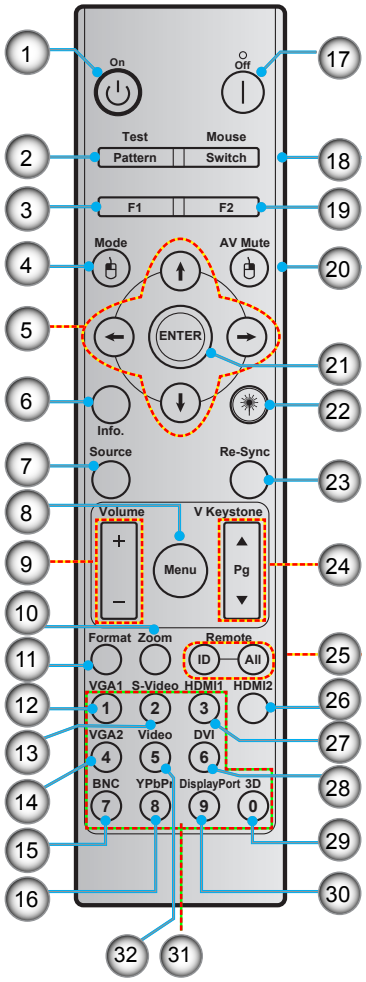
キーパッド



	アイテム		アイテム
1.	エンター	7.	Source
2.	キーストーン補正	8.	4 方向選択キー
3.	Re-Sync	9.	温度インジケータ LED
4.	電源	10.	ランプ インジケータ LED
5.	情報	11.	オン/スタンバイ LED
6.	メニュー		

はじめに

リモコン



	アイテム		アイテム
1.	電源オン	17.	電源オフ
2.	Test pattern	18.	マウス　オン/オフ
3.	ファンクションボタン (F1) (割り当て可能)	19.	ファンクションボタン (F2) (割り当て可能)
4.	Mode/マウスの左クリック	20.	マウスの右クリック/AV Mute
5.	4 方向選択キー	21.	Enter
6.	Info	22.	レーザー
7.	Source	23.	Re-Sync
8.	Menu	24.	V keystone
9.	Volume - / +	25.	Remote ID / All
10.	Zoom	26.	HDMI2
11.	Format (アスペクト比)	27.	HDMI1
12.	VGA1	28.	DVI
13.	S-Video	29.	3D
14.	VGA2	30.	Display port
15.	BNC	31.	テンキー (0-9)
16.	YPbPr	32.	Video

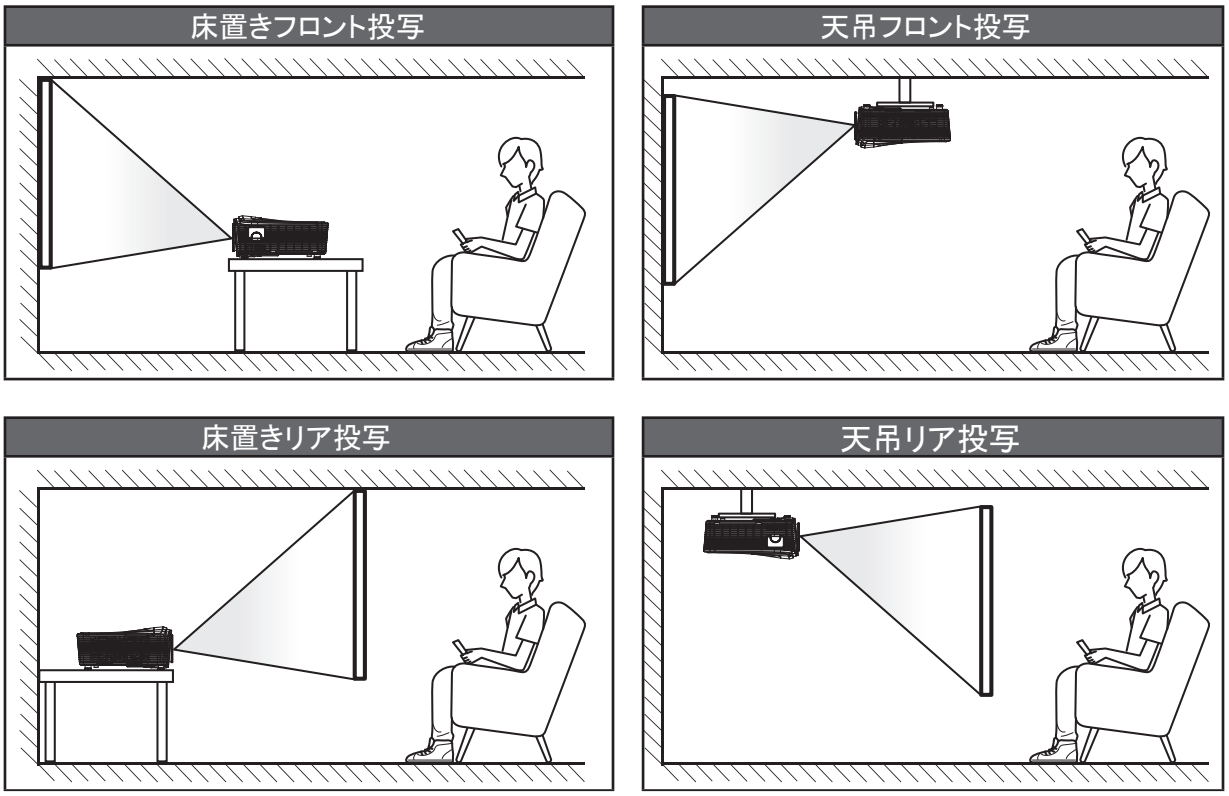
注記: *この機種では15、16、22、25、28、31の機能を使用することはできません。*

設定と設置

プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、4 つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



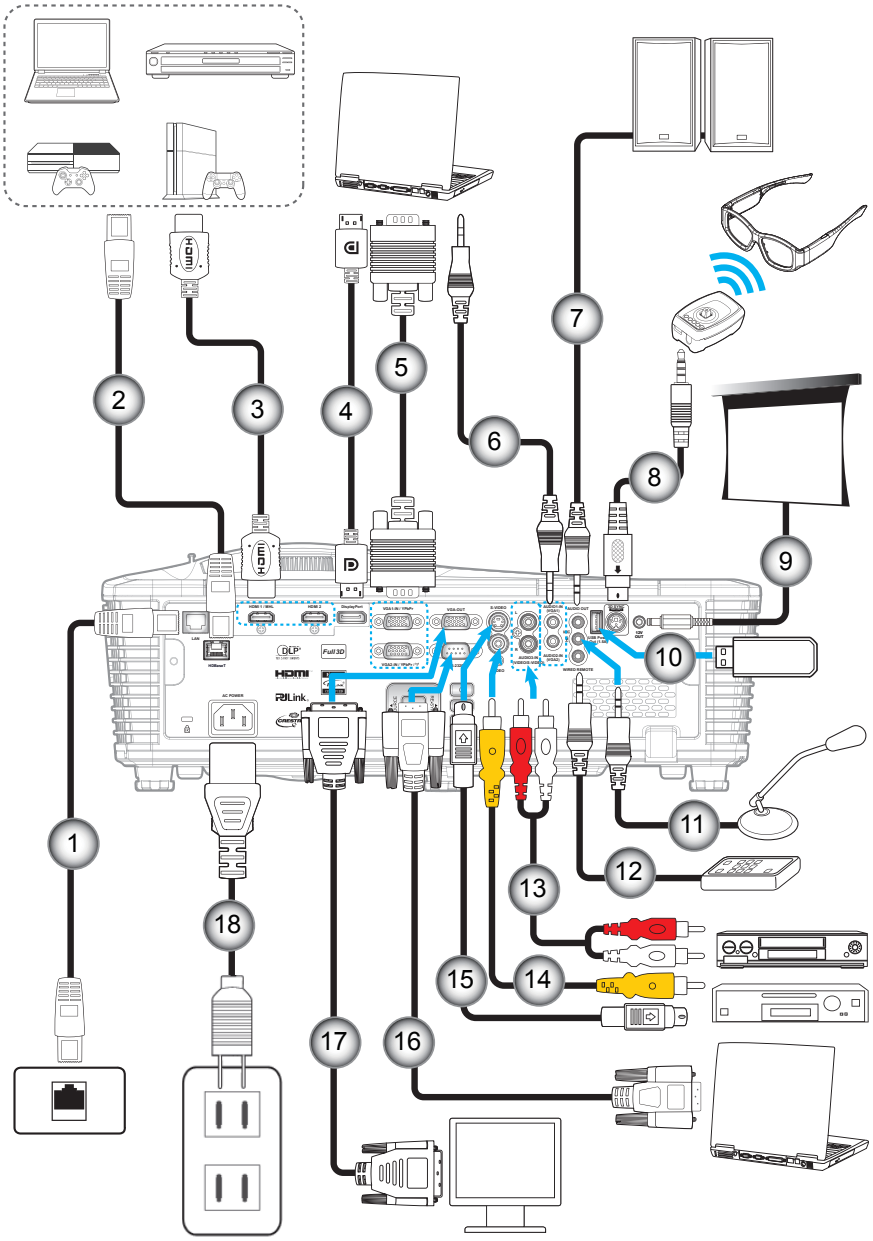
プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直にします。

- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、70-72 ページの**投写距離表**を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンの大きさを決定する方法については、70-72 ページの**投写距離表**を参照してください。

注記: *プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投写される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。*

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



	アイテム		アイテム
1.	LAN(RJ-45)	10.	USB 充電器
2.	HDBase (Cat6以上)	11.	マイクロホンケーブル
3.	HDMI / MHL ケーブル	12.	有線リモコンケーブル
4.	DisplayPort ケーブル	13.	オーディオ入力ケーブル
5.	VGA ケーブル	14.	ビデオケーブル
6.	オーディオ入力ケーブル	15.	S-ビデオケーブル
7.	オーディオ出力ケーブル	16.	RS232 ケーブル
8.	3D エミッターケーブル	17.	VGA 出力ケーブル
9.	12V DCジャック	18.	電源コード

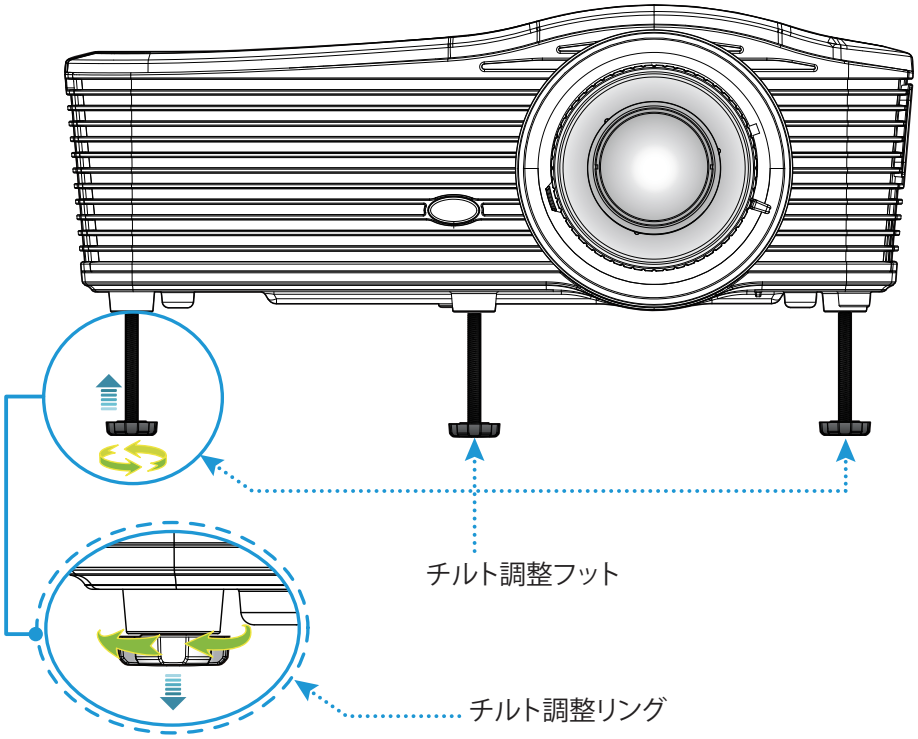
設定と設置

投写画像の調整

画像の高さ

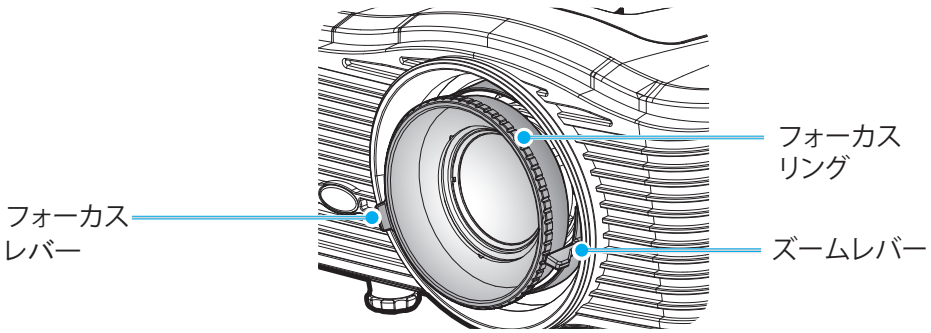
本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の、変更したい調整フットを探します。
2. 調整可能な脚を時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



ズームとフォーカス

- 画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に回し、投写される画像の大きさを調整します。
- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。



注記: *このプロジェクターは 1.2m ～ 8.2m の距離でピントを合わせることができます。*

- WXGA：24.7 インチ～302.7 インチ（0.6～7.9 メートル）
- 1080p：25.1 インチ～309.4 インチ（0.6～7.9 メートル）
- WUXGA：25.8 インチ～318 インチ（0.7～8.1 メートル）

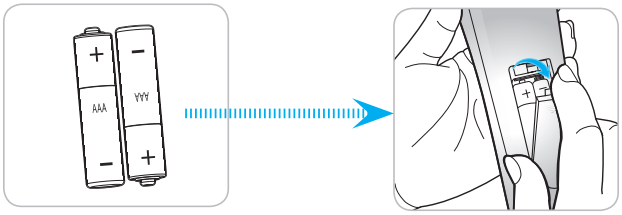
設定と設置

リモコンの準備

電池の取り付け/交換

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池を入れます。
3. リモコンのカバーを戻します。



注記: *交換には同じ電池か同種の電池のみをご利用ください。*

注意事項

電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。必ず以下の指示に従ってください。

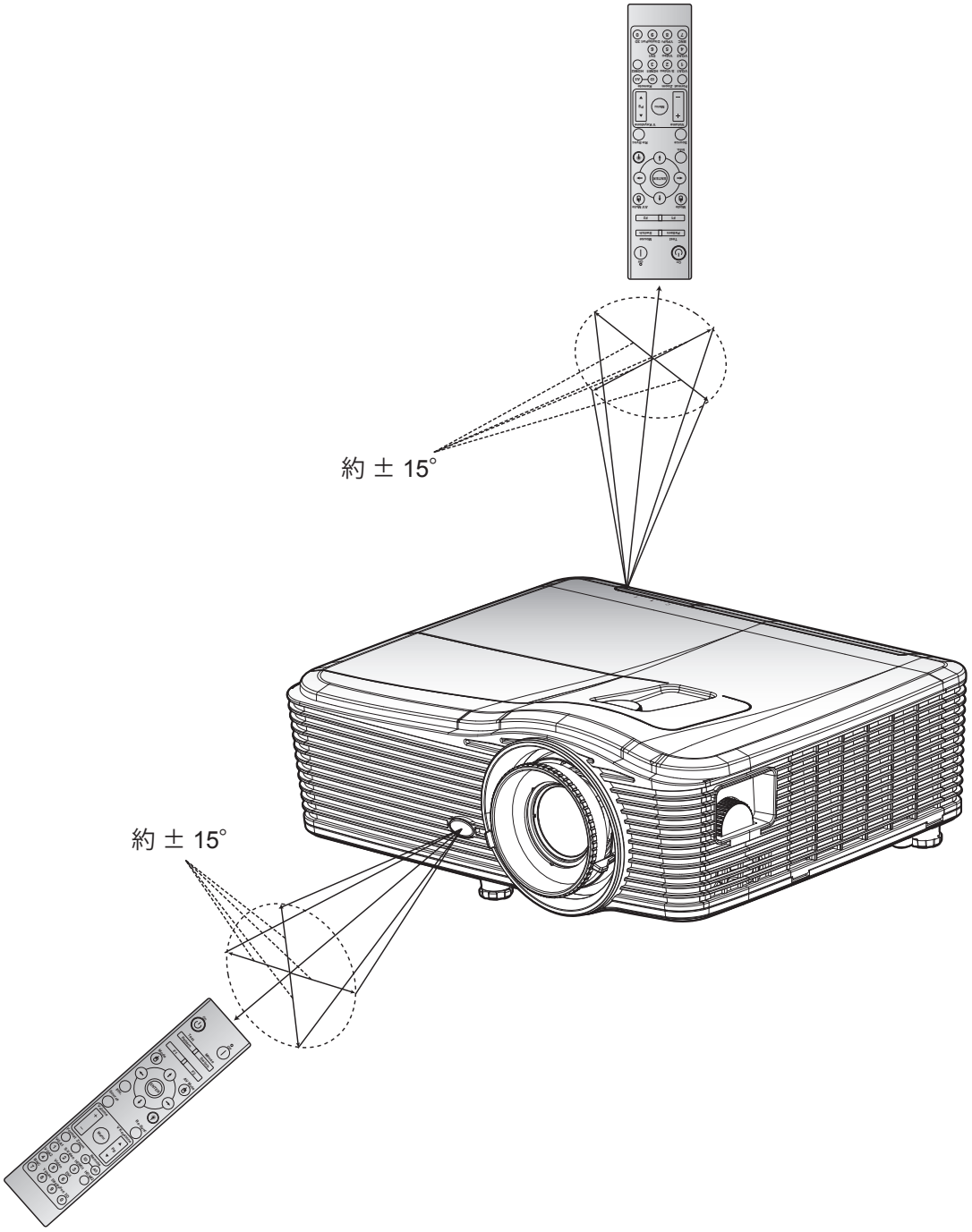
- 異なる種類の電池を混在させない。電池の種類によって特性が異なります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに外してください。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出ることがあります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーはプロジェクターの背面と前面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30度以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は 8 メートル (26 フィート) 以内にする必要があります。

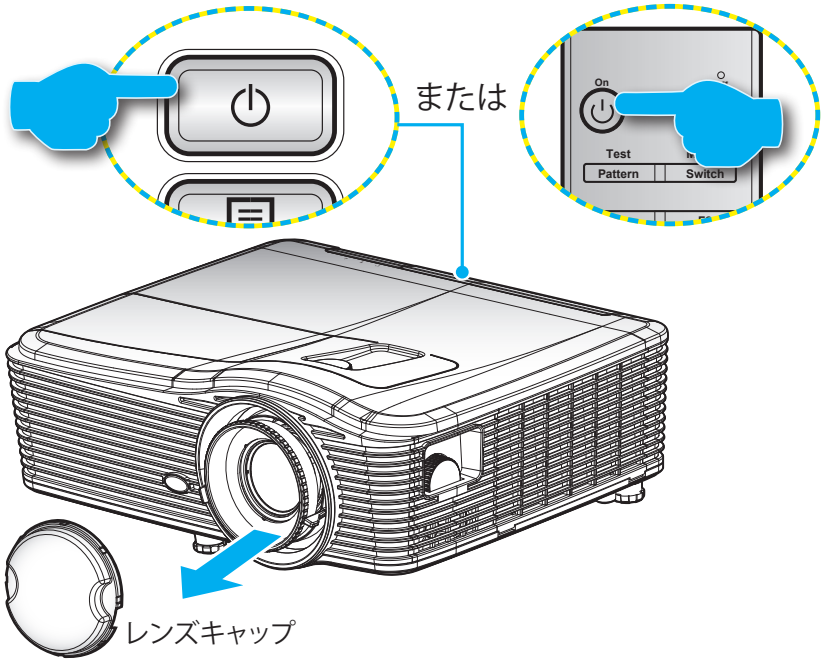
- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 5 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。

設定と設置



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



パワーオン

1. レンズ キャップを取り外します 。
2. 電源コードとシグナル/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、オン/スタンバイ LED が赤色に点灯します。
3. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] を押し、プロジェクターの電源を入れます。
4. 起動画面が約 10 秒後に表示され、オン/スタンバイ LED が青く点灯します。

注記: *初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投写方向、その他の設定を選択するように求められます。*

プロジェクターを使用する

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] を押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。



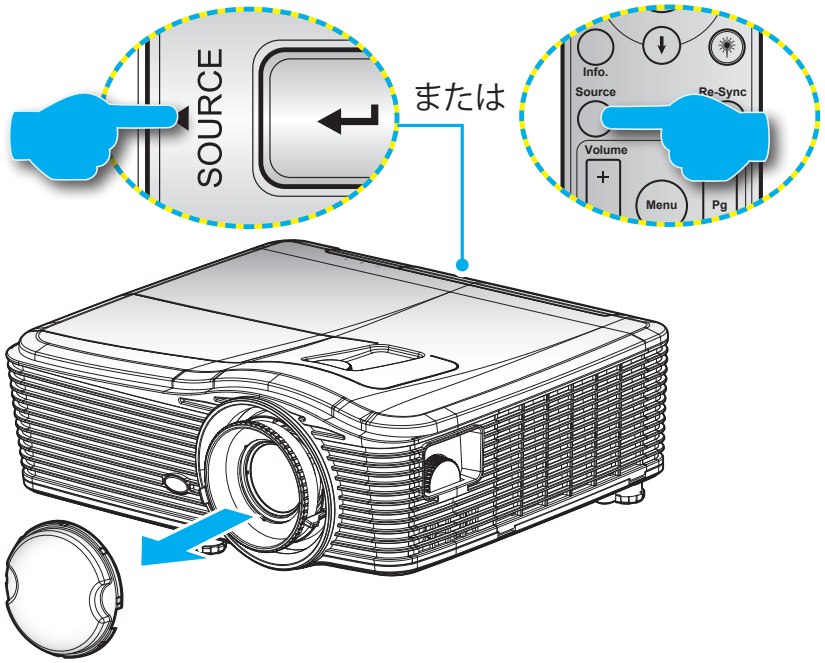
3. [⏻] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に [⏻] ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンは約10秒間作動し続けて冷却を行うと、オン/スタンバイLEDが青に点滅します。オン/スタンバイLEDが赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、[⏻] ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

注記: 電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。

プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノート パソコン、ビデオ プレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンのソースボタンを押し、入力を選択します。



プロジェクターを使用する

メニューナビゲーションと機能

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーン メニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。

1. OSD メニューを開くには、リモコンまたはキーパッドの [Menu] ボタンを押します。
2. OSD が表示されたら、◀▶ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、▼ または [Enter] キーを押してサブ メニューへ進みます。
3. ▲▼ キーを使ってサブメニューで希望のアイテムを選択し、▶ あるいは [Enter] キーを押して詳細設定を表示します。◀▶ キーによって設定を調整します。
4. サブ メニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. [Enter] または [Menu] を押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 [Menu] ボタンを押します。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

メイン メニュー	サブ メニュー	詳細メニュー	シングルアイテムメニュー	調整値
イメージ	ディスプレーモード		プレゼンテーション	デフォルト [プレゼンテーション] PS.モードごとに調整し、保存できます。
			明るい	
			ムービー	
			sRGB	
			ブラックボード	
			DICOM SIM.	
			ユーザー	
			3D設定	
	輝度			-50~50
	コントラスト			-50~50
	シャープネス			1 ~15
	カラー			-50~50
	色合い			-50~50
	詳細	ノイズ リダクション		0~10
		BrilliantColor™		1~10
		DynamicBlack	オン	
			オフ	
		γ	映画	
			グラフィック	
			1.8	
			2.0	
			2.2	
			2.6	
			ブラックボード	
			DICOM SIM.	
		色温度	暖色	
			標準	
			クール	
			冷色	
		色空間	**HDMI 入力なし**: オート / RGB / YUV	
			HDMI 入力: オート/ RGB(0~255) / RGB(16~235)/ YUV	
		RGBゲイン/バイアス	赤ゲイン	-50~50
			緑ゲイン	-50~50
			青ゲイン	-50~50
			赤バイアス	-50~50
			緑バイアス	-50~50
			青バイアス	-50~50
			リセット	
			終了	

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	詳細メニュー	シングルアイテムメニュー	調整値
イメージ	詳細	カラーマッチング	赤	色合い/ 彩度/ ゲイン [-50~50]
			緑	色合い/ 彩度/ ゲイン [-50~50]
			青	色合い/ 彩度/ ゲイン [-50~50]
			青緑色	色合い/ 彩度/ ゲイン [-50~50]
			マゼンタ色	色合い/ 彩度/ ゲイン [-50~50]
			黄	色合い/ 彩度/ ゲイン [-50~50]
			白	赤/ 緑/ 青
			リセット	
			終了	
		信号 (RGB)	自動	オン / オフ
			位相	0~31
			周波数	-5~5
			水平位置	-5~5
			垂直位置	-5~5
			終了	
		信号 (ビデオ)	ホワイトレベル	0~31
			ブラックレベル	-5~5
			IRE	0/7.5 (NTSC のみ)
			終了	
		終了		
	リセット			
ディスプレー	フォーマット			
	ズーム			-5 ~ +25
	エッジマスク	映像水平位置	右/左 (中央のアイコン)	-100 ~ +100
	映像移動調整	映像垂直位置	上/下 (中央のアイコン)	-100 ~ +100
	幾何補正	H キーストン		-30 ~ +30
		垂直キーストン		-30 ~ +30
		自動垂直キーストン	オン	デフォルト [オフ]
			オフ	
		コーナー補正	左上	
			右上	
			左下	

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	詳細メニュー	シングルアイテムメニュー	調整値
ディスプレー	ジオメトリ補正	コーナー補正	右下 (ICONS)	
	3D設定	3D モード	DLP リンク	
			VESA 3D	
			オフ	
		3D->2D	3D設定/ L/ R	
		3D映像フォーマット	オート	
			サイドバイサイド	
			トップアンドボトム	
			フレームシーケンシャル	
		3D同期反転	オン	
			オフ	
		終了		
設定	言語		English	
			Deutsch	
			Français	
			Italiano	
			Español	
			Português	
			Svenska	
			Nederland	
			Norsk/Dansk	
			Polski	
			Русский	
			Suomi	
			Ελληνικά	
			Magyar	
			Čeština	
			عربي	
			繁體中文	
			简体中文	
			日本語	
			한국어	
			ไทย	
			Türkçe	
			فارسی	
			Romanian	
			Indonesian	
			Slovakian	

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	詳細メニュー	シングルアイテムメニュー	調整値
設定	投写方式		フロント 	
			リア 	
			フロント-天吊り 	
			リア-天吊り 	
	画面のタイプ		16:10	
			16:9	
			WXGA	
			WUXGA	
	メニュー位置		左上 	
			右上 	
			中央 	
			左下 	
			右下 	
	セキュリティ	セキュリティ	オン	
			オフ	
	セキュリティタイマー	月		
		日		
		時		
	パスワード変更			
	終了			
	プロジェクター ID			00~99
	音声設定	内蔵スピーカー	オン	
			オフ	
		消音	オン	
			オフ	
		音量	オーディオ	0-10
			マイク	0-10
		オーディオ入力	デフォルト	オーディオ 3-> L/R オーディオ 1、2->ミニジャック デフォルト:
			オーディオ1	
			オーディオ2	VGA1->オーディオ 1 VGA2->オーディオ 2
			オーディオ3	ビデオ、S-ビデオ ->オーディオ 3
		オーディオ出力 (待機モード)	オン	デフォルト [オフ]
			オフ	
		終了		
	詳細	ロゴ	デフォルト	
			ニュートラル	
			ユーザー	
		ロゴキャプチャ		
		クローズドキャプション	オフ	
			CC1	
			CC2	
		終了		

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	詳細メニュー	シングルアイテムメニュー	調整値
[T] SKU のみ	HDBaseT コントロール	イーサネット	オン	デフォルト [オフ]
			オフ	
		RS232	オン	デフォルト [オフ]
			オフ	
設定	ネットワーク	LAN設定	ネットワークのステータス	接続/切断 (読み取り専用)
			DHCP	オン / オフ [デフォルト オフ]
			IPアドレス	デフォルト [192.168.0.100]
			サブネットマスク	デフォルト [255.255.255.0]
			ゲートウェイ	デフォルト [192.168.0.254]
			DNS	デフォルト [192.168.0.1]
			MACアドレス	読み取り専用
			終了	
		コントロール設定	Crestron	オン / オフ (ポート: 41794)
			Extron	オン / オフ (ポート: 2023)
			PJ Link	オン / オフ (ポート: 4352)
			AMX Device Discovery	オン / オフ (ポート: 9131)
			Telnet	オン / オフ (ポート: 23)
			HTTP	オン / オフ (ポート: 80)
			終了	
オプション	入力ソース		VGA1	PS.HDBaseT は [T] SKU のみにあります。
			VGA2	
			Video	
			S-ビデオ	
			HDMI1	
			HDMI2	
			Displayport	
			HDBaseT	
			終了	
	ソースロック		オン	[デフォルト オン]
			オフ	
	高度		オン	[デフォルト オフ]
			オフ	
	信号捜索情報隠し		オン	[デフォルト オフ]
			オフ	PS.警告メッセージと電源オフを非表示
	キーパッド ロック		オン	[デフォルト オフ]
			オフ	
	ディスプレーモードロック		オン	[デフォルト オフ]
			オフ	
	テストパターン		なし	
			グリッド	
			ホワイトパターン	

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	詳細メニュー	シングルアイテムメニュー	調整値
オプション	背景色		黒	[デフォルト 青]
			赤	
			青	
			緑	
			白	
	壁色補正		オフ	
			ライトイエロー	
			ライトグリーン	
			ライトブルー	
			ピンク	
			グレー	
	リモート設定	ユーザー1	HDMI2	[デフォルト "テストパターン"] [T] SKU の場合、他のオプション [HDBaseT] があります。
			DP	
			VGA2	
			S-ビデオ	
			テストパターン	
			ズーム	
			info	
		ユーザー2	HDMI2	[デフォルト "ズーム"] [T] SKU の場合、他のオプション [HDBaseT] があります。
			DP	
			VGA2	
			S-ビデオ	
			テストパターン	
			ズーム	
			info	
		ユーザー3	HDMI2	[デフォルト "情報"] [T] SKU の場合、他のオプション [HDBaseT] があります。
			DP	
			VGA2	
			S-ビデオ	
			テストパターン	
			ズーム	
			info	
		IR機能	全部	
			前方	
			上端	
			オフ	
		リモートコード	00~99	[デフォルト 00]
		終了		
	12Vトリガ		オン	[デフォルト オン]
			オフ	
	ビープ音		オン	[デフォルト オン]
			オフ	

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	詳細メニュー	シングルアイテムメニュー	調整値
オプション	詳細	電源探知オートパワーオン	オン	[デフォルト オフ]
			オフ	
		信号検知オートパワーオン	オン	[デフォルト オフ]
			オフ	
		タイマー電源オートパワーオフ		0-180 (1 ステップ: 5 分)
		スリープ タイマー(分)		0-990 (1 ステップ: 10 分)
				常にオン [チェックボックス式、デフォルトはチェックなし]
		クイックレジューム	オン	[デフォルト オフ]
			オフ	
		電源モード(スタンバイ)	アクティブ	
			エコ	
		終了		
	ランプ設定	ランプ使用時間		
		ランプ警告	オン	[デフォルト オフ]
			オフ	
		ランプモード	明るい	
			エコ	
	ランプ設定	ランプモード	消費電力	
		消費電力	365W	
			350W	
			330W	
			310W	
			300W	
			280W	
		ランプリセット	はい	
			いいえ	
		終了		
	エアフィルタ設定	エアフィルタ取付		はい
				いいえ
		エアフィルタ使用時間		読み取り専用 [レンジ 0 ～9999]
		エアフィルタ使用通知		オフ
				300 hr
				500 hr
				800 hr
				1000 hr [デフォルト 500 hr]
		エアフィルタ使用時間リセット		はい
				いいえ
		終了		
	情報			
	リセット		はい	
			いいえ	

プロジェクターを使用する

イメージメニュー



ディスプレーモード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- **プレゼンテーション**: このモードは、 会議などでプレゼンテーションをするのに適しています。
- **明るい**: PC入力に対する最大輝度。
- **ムービー**: このモードはビデオ再生に適しています。
- **sRGB**: 標準化された正確なカラー。
- **ブラックボード**: 黒板(緑)上に投写する場合に、最適な色設定を得るために選択する必要があります。
- **DICOM SIM.**: このモードでは、X 線撮影、MRI などの医療用画像を白黒で投影することができます。
- **ユーザー**: ユーザー設定を保存します。
- **3D設定**: 3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意し、ご使用の PC /ポータブル機器が 120Hz 信号出力クワッドバッファ対応グラフィックカードを備わっており、3D プレーヤーがインストールされていることをご確認ください。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ◀を押すと画像が暗くなります。
- ▶を押すと画像が明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

- ◀を押すとコントラストが下がります。
- ▶を押すとコントラストが上がります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◀を押すとシャープネスが弱まります。
- ▶を押すとシャープネスが強まります。

カラー

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ◀を押すと画像の彩度が減少します。
- ▶を押すと画像の彩度が増加します。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ◀を押し、画像の緑の量を増やします。
- ▶を押し、画像の赤の量を増やします。

リセット

[はい] を選択すると [イメージ] の工場出荷時設定に戻ります。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

プロジェクターを使用する

イメージの詳細メニュー



ノイズ リダクション

ノイズに対するフィルター感度を選択します。値を上げると、ノイズが減りますが、イメージがソフトになります。

- ◀ を押すと、イメージのノイズが減ります。
- ▶ を押すと、イメージのノイズが増えます。

BrilliantColor™

新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に鮮やかなカラーを実現します。

- ◀ を押すと、イメージの画質が上がります。
- ▶ を押すと、イメージの画質が下がります。

DynamicBlack

DynamicBlackにより、プロジェクターは暗い/明るい映画のシーンで細部まではっきり表示できるように、ディスプレーの輝度を自動的に最適化します。

γ

これにより、γ のカーブタイプを設定できます。初期セットアップと微調整が完了したら、γ 調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- 映画: ホームシアター用。
- グラフィック: PC/フォトソース用。
- 1.8 / 2.0 / 2.2 / 2.6: 特定の PC/フォトソース用。
- ブラックボード: 黒板上に投写する場合に、最適な色設定を得るために選択する必要があります。
- DICOM SIM.: このモードでは、X 線撮影、MRI などの医療用画像を白黒で投影することができます。
- ◀ または ▶ を押し、モードを選択します。

色温度

◀ または ▶ を押し、暖色、標準、クール、冷色 から色温度を選択します。

プロジェクターを使用する

色空間

◀ または ▶ を押し、次から適切なカラーマトリックスタイプを選択します。

- HDMI 入力なし: オート、RGBまたはYUV
- HDMI 入力: オート、RGB (0-255)、RGB (16-235) または YUV。

RGBゲイン/バイアス

この設定でイメージの輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成できます。

- ◀ を押すと、選択した色のゲインとバイアスが下がります。
- ▶ を押すと、選択した色のゲインとバイアスが上がります。

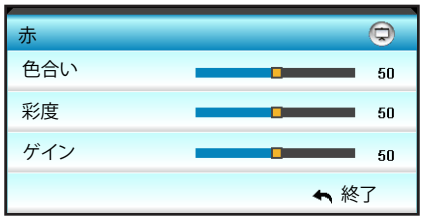


カラーマッチング

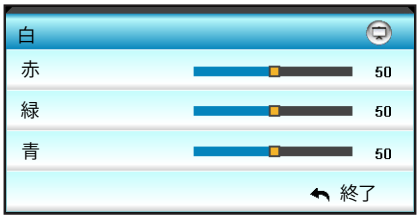
次のメニューで ▶ を押し、▲ か ▼ または ◀ か ▶ を使ってアイテムを選びます。



- 赤/緑/青/青緑色/マゼンタ色/黄: ◀ または ▶ を使用し、色合い、彩度、ゲイン 色を選択します。



- 白: ◀ または ▶ を使用して、赤、緑および青色を選択します。



- リセット: [リセット] を選択すると工場出荷時の色調整に戻ります。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

プロジェクターを使用する

イメージの詳細：信号 (RGB) メニュー



注記:

- *[信号] は、アナログ VGA (RGB) 信号でのみサポートされます。*
- *[信号] が自動の場合、位相と周波数の項目がグレー表示になります。[信号] が自動ではない場合、位相と周波数の項目が表示されるので手動で調整できます。プロジェクターの電源を切り、再度入れたときもこの設定は保存されています。*

自動

信号を自動設定します。この機能を使用すると、位相と周波数アイテムはグレー表示になります。この機能が無効になっている場合、ユーザーが設定を手動で調整し保存できるように位相と周波数アイテムが表示されます。この設定はプロジェクターの電源をオフにして、再度電源をオンにした後にも保存されています。

位相

ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

周波数

ディスプレイデータ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。画像が垂直方向でちらついて見える場合のみ、この機能をお使いください。

水平位置

- ◀を押すと画像が左に移動します。
- ▶ を押すと画像が右に移動します。

垂直位置

- ◀を押すと画像が下に移動します。
- ▶ を押すと画像が上に移動します。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

プロジェクターを使用する

イメージの詳細 : 信号 (ビデオ) メニュー



ホワイトレベル

ビデオ信号を入力しているとき、ホワイトレベルを調整できます。

ブラックレベル

ビデオ信号を入力しているとき、ブラックレベルを調整できます。

IRE

ビデオ信号を入力しているとき、IRE 値を調整できます。

注記: IRE *は* NTSC *ビデオ形式でのみ利用できます。*

- ◀ を押し、画像の色の量を減らします。
- ▶ を押し、画像の色の量を増やします。

プロジェクターを使用する

ディスプレーメニュー



フォーマット

◀ または ▶ を押し、4:3、16:9/16:10、LBX、ネーティブ、オート の中からアスペクト比を選択します。

WXGA / WUXGA:

- 4:3: このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- 16:9: ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9 入力用です。
- 16:10: このフォーマットは ワイドスクリーン ラップトップ同様、16:10 入力ソース用です。
- LBX: 16:9 ではないレターボックスソースを投影する場合や、外部 16:9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投影する場合に選択します。
- ネーティブ: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- オート: 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

注記: *LBX モードに関する詳細情報:*

- *一部のレターボックスフォーマット DVD には、16:9TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBX モードを使って 16:9 ディスプレーに画像を合わせることができます。*
- *外部アナモルフィックレンズを使用する場合、このLBXモードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1コンテンツ(アナモフィックDVDとHDTVフィルムソースを含む)を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では16:9ディスプレーに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。ランプ電源と垂直方向の解像度がフル活用されます。*

プロジェクターを使用する

WXGA スケーリングテーブル (スクリーンタイプ 16 x 10):

16:10 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4：3	1066 x 800 に調整します。				
16：10	1280 x 800 に調整します。				
LBX	1280 x 960に上げ、次に中央 1280 x 800 画像を表示します。				
ネーティブ	1:1 中央にマッピング。		1:1 マッピング表示 1280 x 800。	中央に表示 1280 x 720。	1:1 中央にマッピング。
オート	入力ソースは 1280 x 800 表示に合わせて調整され、アスペクト比はもとの比率を保ちます。 - ソースが 4:3 の場合、1066 x 800 に自動的にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 の場合、1280 x 720 に自動的にサイズ変更されます。 - ソースが 15:9 の場合、1280 x 768 に自動的にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 の場合、1280 x 800 に自動的にサイズ変更されます。				

WXGA スケーリングテーブル (スクリーンタイプ 16 x 9):

16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4：3	960 x 720 に調整します。				
16：9	1280 x 720 に調整します。				
LBX	1280 x 960に上げ、次に中央 1280 x 720 画像を表示します。				
ネーティブ	1:1 中央にマッピング。		1:1 マッピング表示 1280 x 720。	中央に表示 1280 x 720。	1:1 中央にマッピング。
オート	このフォーマットを選択すると、画面タイプは自動的に 16:9 (1280 x 720) になります。 - ソースが 4:3 の場合、960 x 720 に自動的にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 の場合、1280 x 720 に自動的にサイズ変更されます。 - ソースが 15:9 の場合、1200 x 720 に自動的にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 の場合、1152 x 720 に自動的にサイズ変更されます。				

WUXGA スケーリングテーブル (スクリーンタイプ 16 x 10):

16:10 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4：3	1600 x 1200 に調整します。				
16：9	1920 x 1080 に調整します。				
16：10	1920 x 1200 に調整します。				
LBX	1920 x 1440に上げ、次に中央 1920 x 1200 画像を表示します。				
ネーティブ	1:1 中央にマッピング。 スケーリングなし。解像度は使用する入力ソースにより異なり、ソースに準じて表示されます。				
オート	このフォーマットを選択すると、画面タイプは 16:10 (1920×1200) になります。 - ソースが 4:3 の場合、1600 x 1200 に自動的にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 の場合、1920 x 1080 に自動的にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 の場合、1920 x 1200 に自動的にサイズ変更されます。				

プロジェクターを使用する

WUXGA スケーリングテーブル (スクリーンタイプ 16 x 9):

16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4：3	1440 x 1080 に調整します。				
16：9	1920 x 1080 に調整します。				
LBX	1920 x 1440に上げ、次に中央 1920 x 1080 画像を表示します。				
ネーティブ	1:1 中央にマッピング。 スケーリングなし。解像度は使用する入力ソースにより異なり、ソースに準じて表示されます。				
オート	このフォーマットを選択すると、画面タイプは自動的に 16:9 (1920 x 1080) になります。 - ソースが 4:3 の場合、1440 x 1080 に自動的にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 の場合、1920 x 1080 に自動的にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 の場合、1920 x 1200 に自動的にサイズ変更され、表示する 1920 x 1080 領域が切り取られます。				

1080P:

- 4:3: このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- 16:9: このフォーマットは 16:9 入力ソース用で、ワイドスクリーン ラップトップに似ています。
- LBX: 16:9 ではないレターボックスソースを投影する場合や、外部 16:9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投影する場合に選択します。
- ネーティブ: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- オート: 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

1080P スケーリングテーブル:

16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4：3	1440 x 1080 に調整します。				
16：9	1920 x 1080 に調整します。				
LBX	1920 x 1440に上げ、次に中央 1920 x 1080 画像を表示します。				
ネーティブ	1:1 中央にマッピング。 スケーリングなし。解像度は使用する入力ソースにより異なり、ソースに準じて表示されます。				
オート	このフォーマットを選択すると、画面タイプは自動的に 16:9 (1920 x 1080) になります。 - ソースが 4:3 の場合、1440 x 1080 に自動的にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 の場合、1920 x 1080 に自動的にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 の場合、1920 x 1200 に自動的にサイズ変更され、表示する 1920 x 1080 領域が切り取られます。				

ズーム

- ◀ を押すと画像のサイズが小さくなります。
- ▶ を押すとスクリーンに投影された画像が拡大します。

エッジマスク

イメージをエッジマスクしてビデオ ソースのエッジのビデオ エンコード ノイズを削除します。

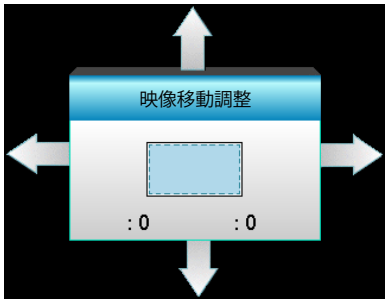
注記:

- *各 I/O には別々の [エッジマスク] の設定があります。*
- *[エッジマスク] と [ズーム] は同時に機能できません。*

プロジェクターを使用する

映像移動調整

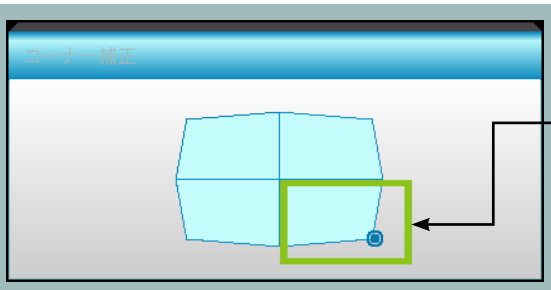
下図のように次のメニューで ▶ を押し、▲ か ▼ または ◀ か ▶ を使ってアイテムを選びます。



- 映像水平位置: ◀▶ を押して、投写された画像位置を水平にシフトします。
- 映像垂直位置: ▲▼ を押して、投写された画像位置を垂直にシフトします。

幾何補正(ジオメトリ補正)

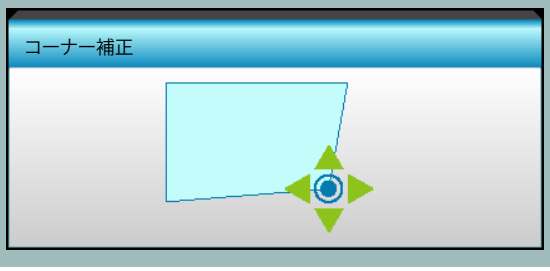
- H キーストン (水平キーストーン): ◀▶ を押し、水平キーストーンの歪みを修整します。
- 垂直キーストン (垂直キーストーン): ▲▼ を押し、垂直キーストーンの歪みを修整します。
- Auto V(自動垂直キーストン): 垂直キーストーンのエラーを自動修正します。
- コーナー補正: 一度に 1 つの角を調整し、イメージの歪みを補正します。
- リセット:リセットを選択すると補正のかかっていない画面に戻ります。



1.[Menu] を使って開始します。

2.[コーナー補正] メニューを使って 1 つの角を選択し、[Enter] を押して確定します。

3.▲▼◀▶を使って角度を動かし、[Enter] を押して確定します。



4.元の画面に戻したい時は、[リセット]を押してください。

プロジェクターを使用する

ディスプレーの 3D メニュー



3D モード

- オフ: [オフ] を選択すると、3D モードがオフになります。
- DLP リンク: [DLP リンク] を選択してDLPリンク3D眼鏡の最適化された設定を使用します。
- VESA 3D: [VESA 3D] を選択して VESA 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。

3D->2D

- 3D設定: 3D信号を表示します。
- L (左): 3D コンテンツの左フレームを表示します。
- R (右): 3D コンテンツの右フレームを表示します。

3D映像フォーマット

- オート: 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- サイドバイサイド: [サイドバイサイド] フォーマットで3D信号を表示します。
- トップアンドボトム: 3D 信号を [トップアンドボトム] フォーマットで表示します。
- フレームシーケンシャル: 3D 信号を [フレームシーケンシャル] フォーマットで表示します。

注記:

- *[3D映像フォーマット] は、69 ページの 3D タイミングでのみサポートされます。*
- *[3D映像フォーマット] は非 HDMI 1.4a 3D タイミングでのみサポートされます。*

3D同期反転

- 左右のフレームコンテンツを反転するには、[オン] を押します。
- デフォルトのフレームコンテンツの場合、[オフ] を押します。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

プロジェクターを使用する

設定メニュー



言語

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。サブメニューの▶ を押し、▲ か ▼ または ◀ か ▶ キーを使ってお好みの言語を選択します。[Enter] を押して、パスワードを設定します。



プロジェクターを使用する

投写方式

-  フロント(床置きフロント投写)
  これは、デフォルト設定です。画像がスクリーン上にまっすぐに投写されます。
-  リア(床置きリア投写)
  選択されると、画像を左右逆向きに表示します。
-  フロント-天吊(天吊フロント投写)
  選択されると、画像を上下逆向きに表示します。
-  リア-天吊(天吊リア投写)
  選択されると、画像を上下・左右逆向きに表示します。

注記:*リアおよびリア-天吊りは、透明なスクリーンを使用する際に使用できます。*

画面のタイプ

16:10 または 16:9 (WXGA/WUXGA) から画面タイプを選択します。

注記: *[画面のタイプ] は* WXGA/WUXGA *専用です。*

メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

セキュリティ

詳細P.42

プロジェクター ID

ID 定義をメニュー (0～99まで) で設定できます。ユーザーは RS232 で個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。

音声設定

詳細次ページ

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

プロジェクターを使用する

設定の音声設定メニュー



内蔵スピーカー

内蔵スピーカーのオンまたはオフを切り替えるには、[オン] または [オフ] を選択します。

消音

- [オン] を選択すると消音が有効になります。
- [オフ] を選択すると消音が無効になります。

注記: *[消音] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。*

音量

- ◀ を押すと音量が小さくなります。
- ▶ を押すと音量が大きくなります。

オーディオ入力

デフォルトの音声設定は、プロジェクターの背面パネルにあります。このオプションを使ってオーディオ入力 (1、2 または 3) を現在のイメージソースに適用し直します。それぞれのオーディオ入力は複数のビデオソースに割り当てることができます。

- デフォルト: VGA 1 -> オーディオ 1、VGA 2 -> オーディオ 2
- オーディオ 1 / 2: ミニジャック接続。
- オーディオ 3: L/R。

オーディオ出力(待機モード)

[オン] または [オフ] を選択し、音声出力のオン/オフを切り替えます。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

プロジェクターを使用する

設定のセキュリティメニュー

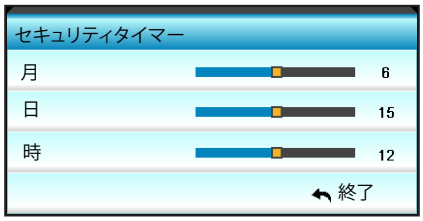


セキュリティ

- オン: [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティー検証を行います。
- オフ: [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。

セキュリティタイマー

時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクターから再度パスワードを入力するよう要求されます。



パスワード変更

- *はじめて設定するとき*:

1. [Enter] キーを押して、パスワードを設定します。
2. パスワードは4桁で設定します。
3. リモコンの数字ボタンまたは画面上のテンキーを押して新規パスワードを入力し、[Enter] キーで確定します。

- *パスワード変更*:
(リモートに数字キーパッドが付いていない場合、上下矢印を使用してパスワードのそれぞれの数字を変更し [Enter] を押して確認してください)

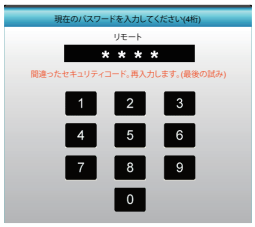
1. [Enter] を押して、古いパスワードを入力します。
2. 数字ボタンまたは画面上のテンキーを使用して現在のパスワードを入力し、[Enter] キーで確定します。
3. リモコンの数字ボタンを使って新しいパスワード(4桁)を入力し、[Enter] を押して確定します。
4. もう一度新しいパスワードを入力し、[Enter] を押して確定します。

間違ったパスワードを3回続けて入力すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。

パスワードを忘れてしまった場合、お近くのサポートセンターにお問い合わせください。

プロジェクターを使用する

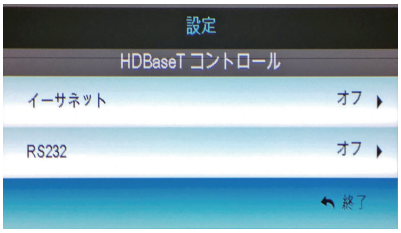
注記: *パスワードのデフォルト値は* [1234] *です (初回時)。*



終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

設定のHDBaseTコントロールメニュー



イーサネット

[詳細P.48–P.51]

RS232

[詳細P.52–P.53]

HDBaseT

[詳細P.84]

プロジェクターを使用する

設定のネットワーク : LAN 設定メニュー



ネットワークのステータス

ネットワーク接続状態を表示します。(読み取り専用)。

MACアドレス

MAC アドレスを表示します。(読み取り専用)。

DHCP

- オン: プロジェクターがネットワークから自動的に IP アドレスを取得します。
- オフ: IP、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS の構成を手動で割り当てます。

注記: *既存の* OSD *が、入力した値を自動的に適用します。*

IPアドレス

IP アドレスを表示します。

サブネットマスク

サブネットマスク番号を表示します。

ゲートウェイ

プロジェクターに接続しているネットワークのデフォルト ゲートウェイを表示します。

DNS

DNS 番号を表示します。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

プロジェクターを使用する

Web ブラウザを使用してプロジェクターをコントロールする方法

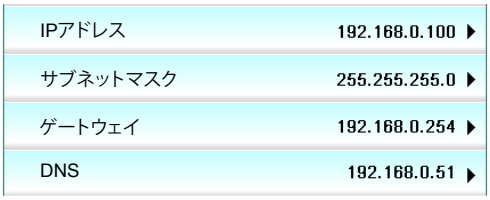
1. DHCP サーバーが IP アドレスを自動的に割り当てられるよう、プロジェクターの DHCP オプションを [オン] にします。
2. PC で Web ブラウザを開き、プロジェクターの IP アドレスを入力します。([ネットワーク: LAN設定 > IPアドレス])。
3. ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
   プロジェクターの構成 Web インターフェイスが開きます。

注記:

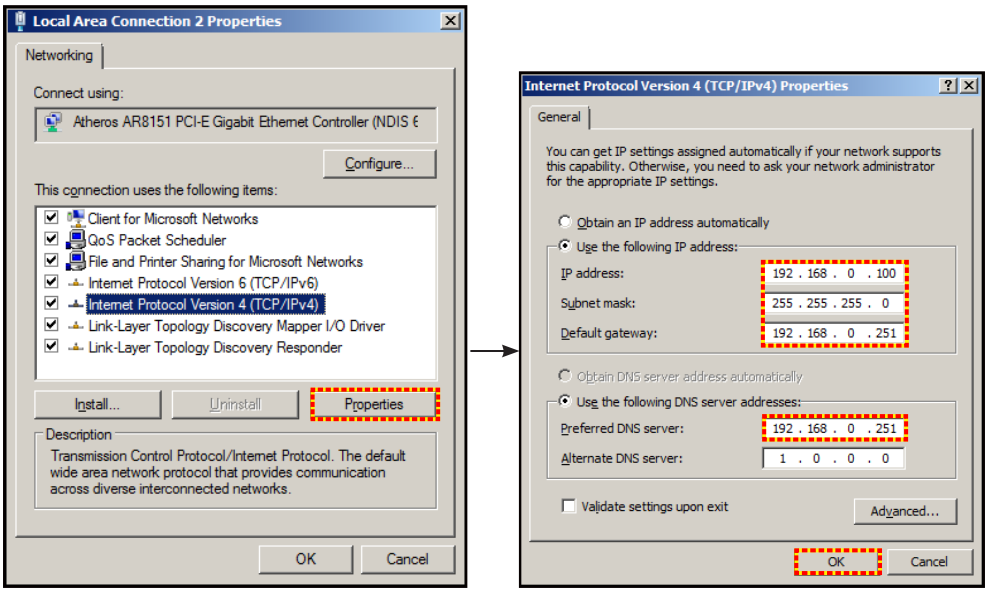
- *デフォルトのユーザー名およびパスワードは* [admin] *です。*
- *このセクションの手順は* Windows 7 *オペレーティングシステムに基づいています。*

コンピュータからプロジェクターに直接接続しているとき*

1. プロジェクターのDHCP オプションを [オフ] にします。
2. プロジェクターでIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSを構成します。([ネットワーク: LAN設定])。



3. PC の [ネットワークと共有センター] のページを開き、プロジェクターに設定されている値と同一のネットワークパラメータを PC に割り当てます。[OK] をクリックしてパラメータを保存します。



4. PC で Web ブラウザを開き、手順 3 で割り当てた IP アドレスを URL フィールドに入力します。[Enter] キーを押します。

プロジェクターを使用する

設定のネットワーク：コントロール設定メニュー



Crestron

この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します。(ポート: 41794)。

詳細については、http://www.crestron.com と www.crestron.com/getroomview にアクセスしてください。

Extron

この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します。(ポート: 2023)。

PJ Link

この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します。(ポート: 4352)。

AMX Device Discovery

この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します。(ポート: 1023)。

Telnet

この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します。(ポート: 23)。

HTTP

この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します。(ポート: 80)。

終了

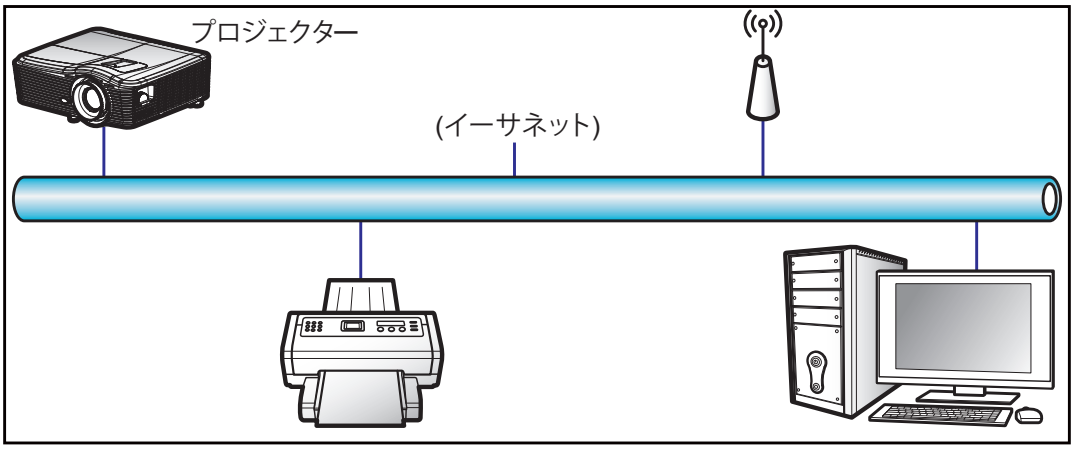
[終了] を選択するとメニューが終了します。

プロジェクターを使用する

設定のネットワーク：コントロール設定メニュー

LAN_RJ45 機能

操作を簡単にするために、プロジェクターは多様なネットワーク機能とリモート管理機能を備えています。プロジェクターの LAN/RJ45 機能では、ネットワークを介して電源のオン/オフ、明るさ設定、コントラスト設定などをリモート管理できます。また、ビデオソースや消音など、プロジェクターのステータス情報も提供されます。



有線 LAN 端末機能

このプロジェクターは PC (ラップトップ) またはその他の外部デバイスを利用し、LAN/RJ45 ポートと互換性のある Crestron / Extron / AMX (デバイス検出) / PJLink を介して制御できます。

- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は JBMIA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。

このプロジェクターは Crestron Electronics コントローラーと関連ソフトウェア、たとえば、RoomView® の指定のコマンドに対応しています。

http://www.crestron.com/

このプロジェクターは Extron デバイスに対応しているのでご参照ください。

http://www.extron.com/

このプロジェクターは AMX (デバイス検出) に対応しています。

http://www.amx.com/

このプロジェクターは PJLink Class1 (バージョン 1.00) の全コマンドに対応しています。

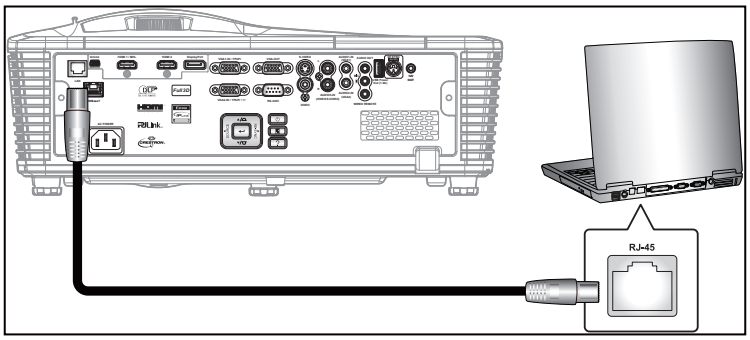
http://pjlink.jbmia.or.jp/english/

LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する詳細については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

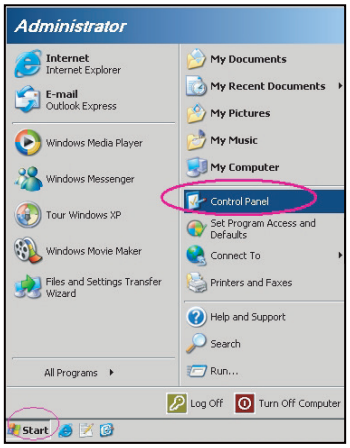
プロジェクターを使用する

LAN RJ45

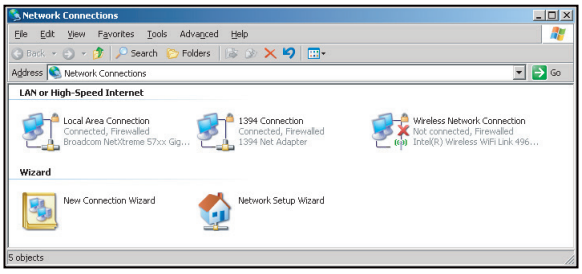
1. プロジェクターと PC (ラップトップ) の RJ45 ポートに RJ45 ケーブルを接続します。



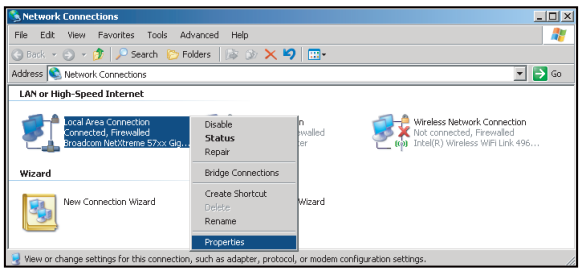
2. PC (ラップトップ) で、Start (スタート) > Control Panel (コントロールパネル) > Network Connections (ネットワーク接続) の順に選択します。



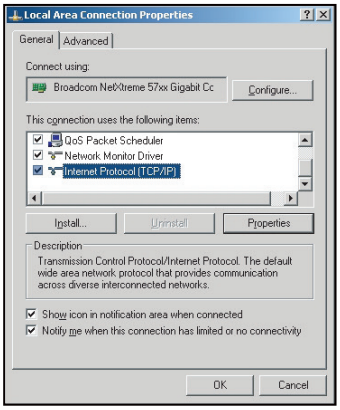
3. Local Area Connection (ローカルエリア接続) を右クリックし、Property (プロパティ) を選択します。



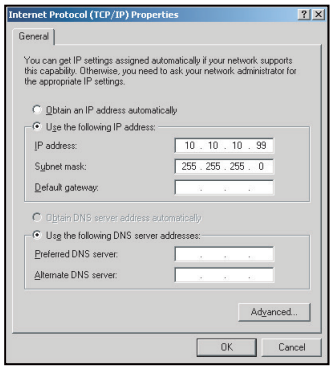
4. Properties (プロパティ) ウィンドウで、General (全般) タブを選択し、Internet Protocol (TCP/IP) (インターネットプロトコル (TCP/IP)) を選択します。



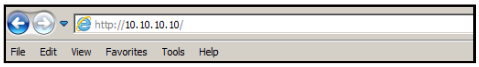
5. [Property (プロパティ)] をクリックします。



6. IP アドレスとサブネットマスクを入力し、[OK] を押します。



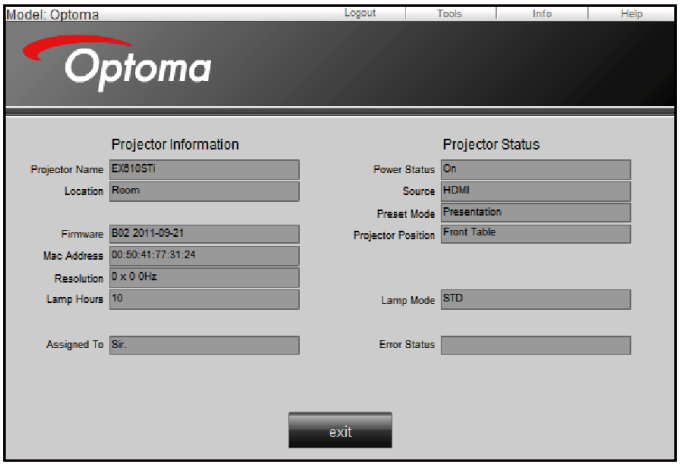
7. プロジェクターの [Menu] ボタンを押します。
8. ◀▶ キーを使い、[設定] > [ネットワーク] > [LAN設定] を選択します。
9. LAN 設定には言ったら、次の接続パラメーターを入力します。
   - DHCP: オフ
   - IPアドレス: 10.10.10.10
   - サブネットマスク: 255.255.255.255
   - ゲートウェイ: 0.0.0.0
   - DNS: 0.0.0.0
10. [Enter] を押し、設定を確定します。
11. Adobe Flash Player 9.0 以降をインストールした Microsoft Internet Explorer など、Web ブラウザーを開きます。
12. アドレスバーに、プロジェクターの IP アドレスを入力します。10.10.10.10.



プロジェクターを使用する

13. [Enter] を押します。
このプロジェクターはリモート管理できます。LAN/RJ45 機能に次のように表示されます。

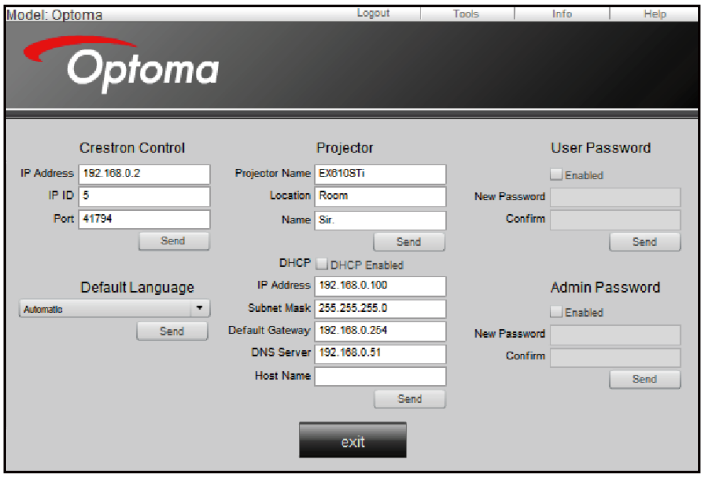
情報ページ



メインページ



ツールページ



IT ヘルプデスクに問い合わせる



プロジェクターを使用する

RS232 by Telnet Function

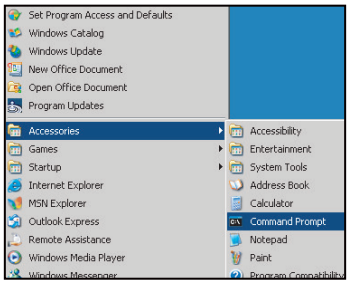
RS232 コマンドの制御方法には代替があります。これは LAN/RJ45 インターフェイスで [RS232 by TELNET] と呼ばれています。

[RS232 by Telnet Function] のクイックスタートガイド

- プロジェクターの OSD で IP アドレスを確認します。
- PC/ラップトップがプロジェクターの Web ページにアクセスできることを確認します。
- PC/ラップトップが [TELNET] 機能を拒否する場合、[Windows ファイアウォール] 設定が無効になっていることを確認します。



1. Start (スタート) > All Programs (すべてのプログラム) > Accessories (アクセサリ) > Command Prompt (コマンドプロンプト)。



2. コマンドを次の形式で入力します。
   – telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23 ([Enter] キーを押す)
   – (ttt.xxx.yyy.zzz:プロジェクターの IP アドレス)
3. Telnet 接続の用意ができて、RS232 コマンドを入力できるのであれば、[Enter] を押すと、RS232 コマンドが実行可能になります。

プロジェクターを使用する

[RS232 by TELNET] の仕様:

1. Telnet:TCP。
2. Telnet ポート:23 (詳細は、サービスエージェントまたはチームにお問い合わせください)。
3. Telnet ユーティリティ:Windows [TELNET.exe] (コンソールモード)。
4. RS232-by-Telnet 制御の通常切断:閉じる
5. TELNET 接続準備完了直後の Windows Telnet ユーティリティ。
   - Telnet 制御の制限 1:Telnet 制御用途に対して、連続するネットワークペイロードが 50 バイト未満とされています。
   - Telnet 制御の制限 2:Telnet 制御に対して、1 つの完全な RS232 コマンドに 26 バイト未満とされています。
   - Telnet 制御の制限 3:次の RS232 コマンドの最小遅延は 200 (ms) を超える必要があります。

プロジェクターを使用する

設定の詳細メニュー



ロゴ

この機能を使って希望のスタートアップスクリーンを設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- デフォルト: デフォルトの起動画面です。
- ニュートラル: ロゴは起動画面に表示されません。

ロゴキャプチャ

▶ を押すと、現在スクリーンに表示されている画像のイメージが画像ファイルとして保存されます。

クローズドキャプション

[クローズドキャプション] はプログラムの音声あるいはその他の情報をテキストとして画面上に表示します。入力信号がクローズドキャプションを含んでいる場合、この機能をオンにしてチャンネルを閲覧することができます。◀ または ▶ を押して オフ、CCI、または CC2 を選択します。

ワイヤレス

ワイヤレス機能の [オン] または [オフ] を切り替えるには、[オン] または [オフ] を選択します。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

注記: *ロゴキャプチャを正常に行うには、画面上のイメージがプロジェクターのネイティブ解像度を超えていないことを確認してください。(* 1080p:1920×1080 *)。*

プロジェクターを使用する

オプションメニュー



入力ソース

入力ソースを有効/無効にする際に使用します。▶ を押して、サブ メニューに入り、必要なソースを選択します。[Enter] を押して、パスワードを設定します。プロジェクターは、有効になっている入力のみを検索します。

ソースロック

- オン: プロジェクターは、現在の入力接続のみを検索します。
- オフ: 現在の入力シグナルがない場合、プロジェクターは他のシグナルを検索します。

高度

[オン] が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

信号捜索情報隠し

- オン: [オン] を選択すると、[情報メッセージ] が非表示になります。
- オフ: [オフ] を選択すると、[検出中] メッセージが非表示になります。

キーパッド ロック

キーボード ロック機能が [オン] の場合、キーパッドはロックされますが、プロジェクターはリモコンによって操作できます。[オフ] を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

ディスプレーモードロック

- オン: ディスプレーモード設定の調整をロックします。
- オフ: ディスプレーモード設定の調整のロックを解除します。

テストパターン

テストパターンを表示します。グリッド、白、パターン、なしがあります。

プロジェクターを使用する

オプションメニュー



背景色

信号が使用できないとき、この機能を使用して[黒]、[赤]、[青]、[緑]、[白]画面を表示します。

壁色補正

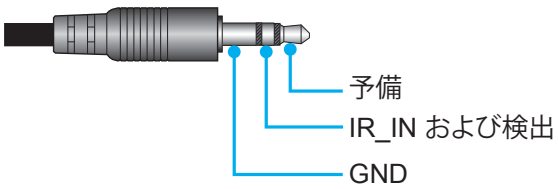
この機能を利用し、壁の色に合わせてスクリーンイメージを最適化します。利用可能なオプション: [ライトイエロー]、[ライトグリーン]、[ライトブルー]、[ピンク]、[グレー]。



リモート設定

詳細 P.59

12Vトリガ



- オフ: [オフ] を選択するとトリガが無効になります。
- オン: [オン] を選択するとトリガが有効になります。

ビープ音

- オフ: キーが押されたか、エラーが発生したとき、ビープ音は鳴りません。
- オン: キーが押されたか、エラーが発生したとき、ビープ音が鳴ります。

プロジェクターを使用する

オプションメニュー

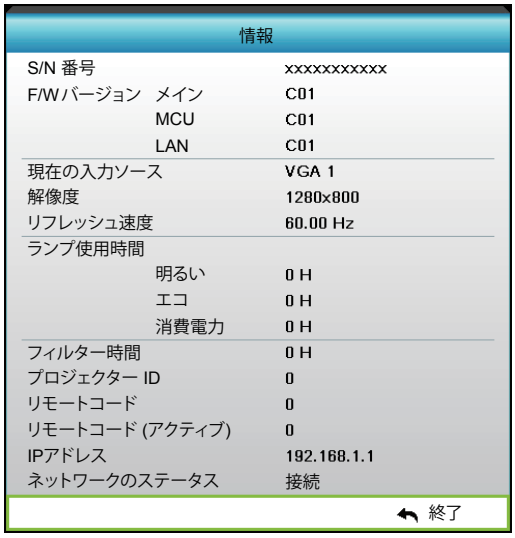


エアマスク設定

[詳細P.62]

情報

プロジェクター情報を表示します。



終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

リセット

[はい] を選択すると [オプションのフィルター] の工場出荷時設定に戻ります。

プロジェクターを使用する

オプションのランプ設定メニュー



ランプ使用時間

投写時間を表示します。

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

ランプモード

- 明るい: [明るい(365W)] を選択すると明るさが増します。
- エコ: [エコ(280W)] を選択するとプロジェクターランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、ランプ寿命を延長することができます。
- 消費電力: プロジェクターの電源設定を手動で設定する場合、このオプションを選択します。

注記:

- *操作中に室温が40℃を超えると、プロジェクターはエコモードに切り替わります。*
- *[ランプモード]は 2D と 3D で独立して設定できます。*

消費電力

プロジェクターの電源を手動で設定します。365W、350W、330W、310W、300W、280W から選択できます。

ランプリセット

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

プロジェクターを使用する

オプションのリモート設定メニュー



ユーザー1

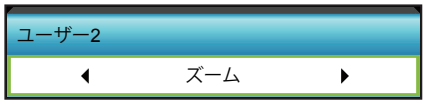
デフォルト値は [テストパターン] です。



- ▶ を押して次のメニューに入り、◀ または ▶ を利用して [HDMI2]、[DP]、[VGA2]、[S-ビデオ]、[テストパターン]、[ズーム]、[情報] 項目を選択します。
- リモコンの [F1] を押すと使用できます。

ユーザー2

デフォルト値は [ズーム] です。



- ▶ を押して次のメニューに入り、◀ または ▶ を利用して [HDMI2]、[DP]、[VGA2]、[S-ビデオ]、[テストパターン]、[ズーム]、[情報] 項目を選択します。
- リモコンの[F2]を押すと使用できます。

ユーザー3

この機種では使用できません。

プロジェクターを使用する

IR機能

- オン: [オン] を選択すると、前方または上部 IRレシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
- 前方: [前方] を選択すると、前方 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
- 上端: [上端] を選択すると、上部 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
- オフ: [オフ] を選択すると、前方または上部の IRレシーバーからリモコンでプロジェクターを操作することはできません。[オフ] を選択すると、キーパッドのキーを使用できるようになります。

注記:

- *[前方] と [上端] はスタンバイモードで選択できません。*
- NVIDIA *により実装され認定された場合、*IR*モードを* [NVIDIA 3D Vision] *に切り替えることができます。*

リモートコード

- ► を押してリモートカスタムコードを設定し、[Enter] を押して設定に切り替えます。

プロジェクターを使用する

オプションの詳細メニュー



電源探知オート パワー オン

[オン] を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC電源が供給されると自動的に電源オンになり、プロジェクターのコントロールパネルまたはリモコンの[⏻]キーを押す必要はありません。

信号検知オートパワーオン

[オン] を選択し、信号探知オートパワーオンモードを有効にします。プロジェクターのコントロールパネルまたはリモコンにある [⏻] を押さなくても、信号が検出されたときにプロジェクターの電源が自動的に入ります。

タイマー電源オートパワーオフ

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます(単位は分です)。

- ◀ を押すと、タイマーの間隔が短くなります。
- ▶ を押すと、タイマーの間隔が長くなります。

注記:

- *スリープタイマーの値は、プロジェクターの電源がオフになった後にゼロにリセットされます。*
- *カウントダウンが終わると、プロジェクターの電源が自動的に切れます。デフォルト設定は 20 分です。*

スリープ タイマー(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます(単位は分です)。

- ◀ を押すと、タイマーの間隔が短くなります。
- ▶ を押すと、タイマーの間隔が長くなります。

クイックレジューム

- オン: プロジェクターが偶発的にオフになってしまった場合、100 秒以内に選択すれば、この機能を介してプロジェクターの電源を直ちにオンにすることができます。
- オフ: プロジェクターをオフにすると、システムは 10 秒後に冷却を開始します。

電源モード(スタンバイ)

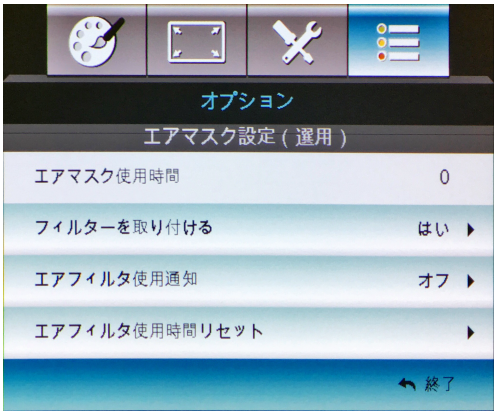
- アクティブ: [アクティブ] を選択すると通常スタンバイに戻ります。
- エコ: [エコ] を選択すると、節電モードになります(<0.5W)。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

プロジェクターを使用する

オプションのエアマスク設定メニュー



エアマスク使用時間

エアマスク使用時間を表示します。

エアフィルタ取付

- はい: 使用時間が500 時間を超えると警告メッセージが表示されます。
- いいえ: 警告メッセージをオフにします。

注記: *[エアマスク使用時間] / [エアフィルタ使用通知] / [エアフィルタ使用時間リセット] は [エアフィルタ取付] が [はい] のときにのみ表示されます。*

エアフィルタ使用通知

フィルタ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。(工場出荷時設定: 500 hr)。

エアフィルタ使用時間リセット

エアマスクの交換または洗浄後、エアフィルタカウンタをリセットしてください。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

※エアマスクとはエアフィルタとカバーの総称です。

プロジェクターを使用する

3D 設定

1. プロジェクターの電源を入れます。
2. 3D ソースを接続します。たとえば、3D ブルーレイ、ゲーム機、PC、セットトップボックスなどです。
3. 3D コンテンツを挿入していること、または 3D チャネルを選択していることを確認します。
4. 3D眼鏡をオンにする。3D 眼鏡の操作方法については、3D 眼鏡のユーザーガイドをご参照ください。
5. プロジェクターが 3D ブルーレイから自動的に 3D を表示します。セットトップボックスまたは PC 経由の 3D の場合、3D メニューで設定を調整する必要があります。

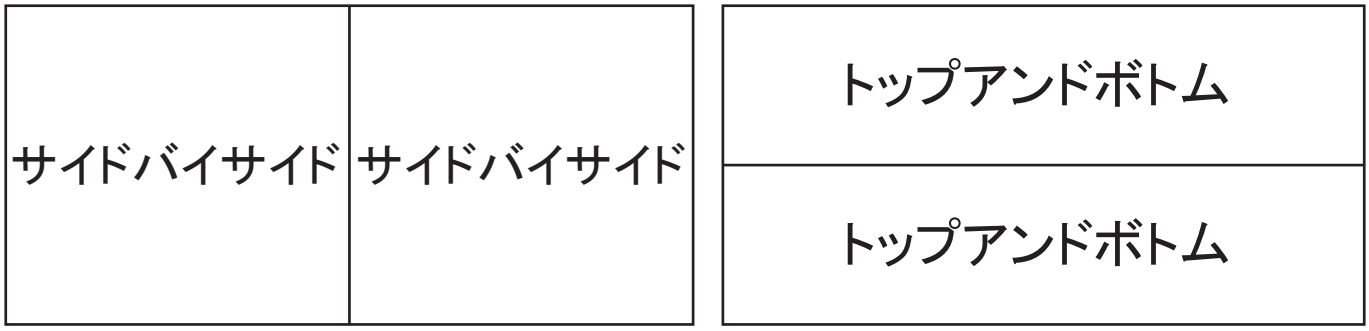
ブルーレイ経由の 3D の場合

3D は自動的に表示されます。お使いの 3D 眼鏡によっては、メニューで DLP Link または VESA を選択する必要があります。VESA 眼鏡にはエミッターが付属するので、それをプロジェクターの 3D 同期ポートに接続する必要があります。*14* ページを参照してください。

- Menu > [ディスプレー] > [3D設定] > [3D モード] > [DLP リンク]
- Menu > [ディスプレー] > [3D設定] > [3D モード] > [VESA 3D]

PC またはセットトップボックス経由の 3D の場合

3D は自動的に表示されません。3D コンテンツによっては、イメージが横並びまたは上下に表示されます。次の表を参照してください。



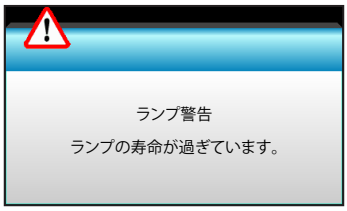
- 横並びのイメージの場合、メニューで [サイドバイサイド] を選択します。
  Menu > [ディスプレー] > [3D設定] > [3D映像フォーマット] > [サイドバイサイド]。
- 上下のイメージの場合、メニューで [トップアンドボトム] を選択します。
  Menu > [ディスプレー] > [3D設定] > [3D映像フォーマット] > [トップアンドボトム]。
  3D イメージが正しく見えないとき、場合によっては、3D 同期反転を調整する必要があります。イメージがおかしく見える場合、これをオンにします。Menu > [ディスプレー] > [3D設定] > [3D同期反転] > [オン]。

注記: *入力ビデオが通常の2Dの場合、[3D映像フォーマット] にするために [オート] を押し [オフ] に切り替えてください。[サイドバイサイド]モードが作動している場合、2Dビデオの内容は正しく表示されません。PC 経由の 3D が特定の解像度でのみ機能するときは [オート] に戻してください。69 ページで互換性を確認してください。*

保守管理

ランプの交換

プロジェクターはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。



このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分に放熱するまで約 30 分お待ちください。



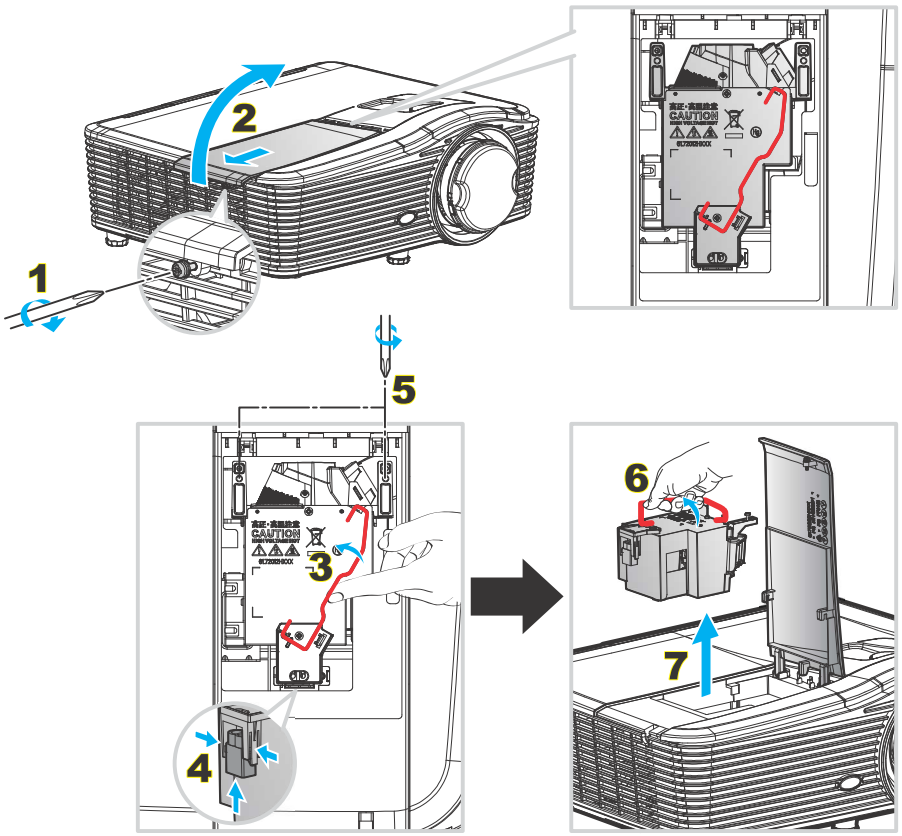
警告: 天上から吊り下げる場合、ランプ アクセス パネルを開けるときは注意してください。天井から吊り下げている状態で電球を交換する場合、安全メガネを着用することをお勧めします。[プロジェクターからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります。]

警告: ランプコンパートメントは熱くなっています!放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください!

警告: 怪我を防止するため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

保守管理

ランプの交換 (続き)



手順:

1. リモコンまたはプロジェクターのキーパッドにある [⏻] ボタンを押してプロジェクターの電源をオフにします。
2. ランプが十分に冷めるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. カバーにある 1 本のネジをゆるめます。1
5. カバーを開けます。2
6. ランプ モジュールにある 2 本のネジをゆるめます。5
7. ランプハンドルを持ち上げます。3
8. 両側を押して持ち上げ、ランプコードを取り外します。4
9. ランプ ハンドル 6 を持ち上げて、ランプ モジュールをゆっくりと注意深く移動します。7
10. ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。
11. プロジェクターの電源をオンにし、ランプのタイマーをリセットします。
12. ランプリセット: (i) [Menu] を押し → (ii) [オプション] を選択し → (iii) [ランプ設定] を選択し → (iv) [ランプリセット] を選択し → (v) [はい] を選択します。

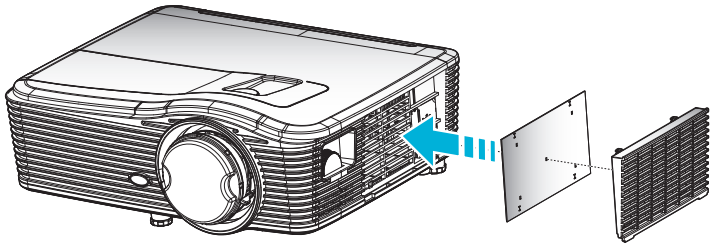
注記:

- *ランプ カバーとランプに付いたネジを外すことはできません。*
- *プロジェクターにランプ カバーが戻されなかった 場合、プロジェクターは動作しません。*
- *ランプのガラス部分には、触れないようにしてください。手の油分が付着すると、ランプが破裂する恐れがあります。誤ってガラス部分に触れてしまった場合は、乾いた布を使ってランプモジュールを拭いてください。*

保守管理

エアフィルタの取り付けと洗浄

エアフィルタの取り付け

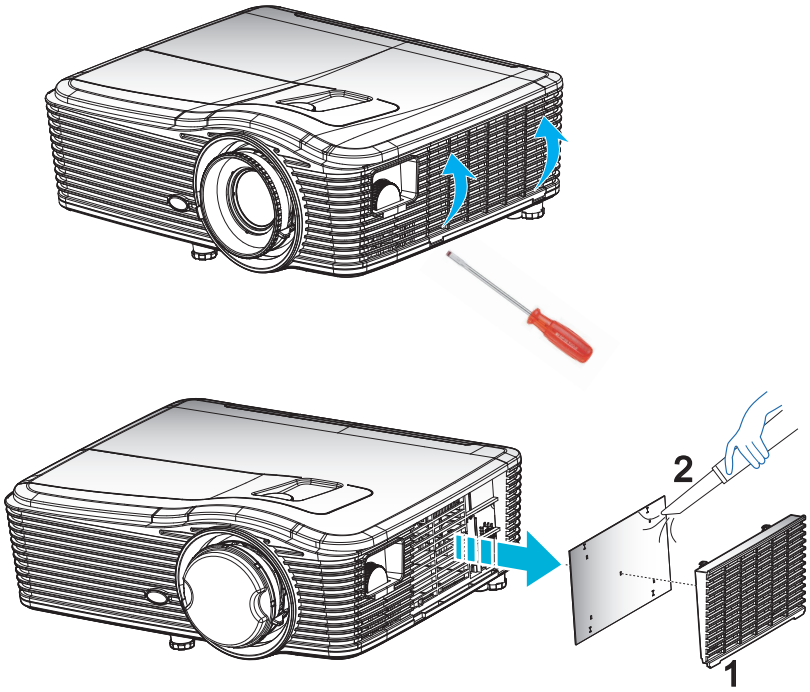


エアフィルタの洗浄

エアフィルタは 3 ヶ月ごとに洗浄することをお勧めします。埃の多い環境でプロジェクターを使用する場合は洗浄の頻度を多くしてください。

手順:

1. リモコンまたはプロジェクターのキーパッドにある [⏻] ボタンを押してプロジェクターの電源をオフにします。
2. 電源コードを外します。
3. エアフィルタカバーをマイナスドライバー等でゆっくり取り外します。
   ※取り外す際は怪我にご注意ください。
4. エアフィルタをゆっくりと注意深く取り外します。
5. エアフィルタを洗浄するか交換します。
6. エアフィルタを取り付けるには、上記の手順を逆に繰り返します。



追加情報

対応解像度

HDMI*の互換性*

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
720 x 400 @ 70Hz	WXGA:	ネーティブタイミング:	640 x 480p @ 60Hz	1366 x 768 @ 60Hz
640 x 480 @ 60Hz	1440 x 900 @ 60Hz	1024 x 768 @ 60Hz	720 x 480p @ 60Hz	1920 x 1080 @ 60Hz
640 x 480 @ 67Hz	1024 x 768 @ 120Hz	WXGA: 1280 x 800 @ 60Hz	1280 x 720p @ 60Hz	1920 x 1200 @ 60Hz
640 x 480 @ 72Hz	1280 x 800 @ 60Hz	1080P: 1920 x 1080 @ 60Hz	1920 x 1080i @ 60Hz	
640 x 480 @ 75Hz	1280 x 1024 @ 60Hz	WUXGA: 1920 x 1200 @ 60Hz (RB)	720 (1440) x 480i @ 60Hz	
800 x 600 @ 56Hz	1680 x 1050 @ 60Hz		1920 x 1080p @ 60Hz	
800 x 600 @ 60Hz	1280 x 720 @ 60Hz		720 x 576p @ 50Hz	
800 x 600 @ 72Hz	1280 x 720 @ 120Hz		1280 x 720p @ 50Hz	
800 x 600 @ 75Hz	1600 x 1200 @ 60Hz		1920 x 1080i @ 50Hz	
832 x 624 @ 75Hz	1080P/WUXGA:		720 (1440) x 576i @ 50Hz	
1024 x 768 @ 60Hz	1280 x 720 @ 60Hz		1920 x 1080p @ 50Hz	
1024 x 768 @ 70Hz	1280 x 800 @ 60Hz		1920 x 1080p @ 24Hz	
1024 x 768 @ 75Hz	1280 x 1024 @ 60Hz		1920 x 1080p @ 30Hz	
1280 x 1024 @ 75Hz	1400 x 1050 @ 60Hz			
1152 x 870 @ 75Hz	1600 x 1200 @ 60Hz			
	1440 x 900 @ 60Hz			
	1280 x 720 @ 120Hz			
	1024 x 768 @ 120Hz			

VGA *アナログ互換性*

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
720 x 400 @ 70Hz	WXGA:	ネーティブタイミング:		1366 x 768 @ 60Hz
640 x 480 @ 60Hz	1440 x 900 @ 60Hz	1024 x 768 @ 60Hz		1920 x 1080 @ 60Hz
640 x 480 @ 67Hz	1024 x 768 @ 120Hz	WXGA: 1280 x 800 @ 60Hz		1920 x 1200 @ 60Hz (RB)
640 x 480 @ 72Hz	1280 x 800 @ 60Hz	1080P: 1920 x 1080 @ 60Hz		
640 x 480 @ 75Hz	1280 x 1024 @ 60Hz	WUXGA: 1920 x 1200 @ 60Hz (RB)		
800 x 600 @ 56Hz	1680 x 1050 @ 60Hz			
800 x 600 @ 60Hz	1280 x 720 @ 60Hz			
800 x 600 @ 72Hz	1280 x 720 @ 120Hz			
800 x 600 @ 75Hz	1600 x 1200 @ 60Hz			
832 x 624 @ 75Hz	1080P/WUXGA:			
1024 x 768 @ 60Hz	1280 x 720 @ 60Hz			
1024 x 768 @ 70Hz	1280 x 800 @ 60Hz			
1024 x 768 @ 75Hz	1280 x 1024 @ 60Hz			
1280 x 1024 @ 75Hz	1400 x 1050 @ 60Hz			
1152 x 870 @ 75Hz	1600 x 1200 @ 60Hz			
	1440 x 900 @ 60Hz			
	1280 x 720 @ 120Hz			
	1024 x 768 @ 120Hz			

追加情報

ディスプレーポートデジタル互換性

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
720 x 400 @ 70Hz	WXGA:	ネーティブタイミング:	640 x 480p @ 60Hz	1366 x 768 @ 60Hz
640 x 480 @ 60Hz	1440 x 900 @ 60Hz	1024 x 768 @ 60Hz	720 x 480p @ 60Hz	1920 x 1080 @ 60Hz
640 x 480 @ 67Hz	1024 x 768 @ 120Hz	WXGA: 1280 x 800 @ 60Hz	1280 x 720p @ 60Hz	1920 x 1200 @ 60Hz
640 x 480 @ 72Hz	1280 x 800 @ 60Hz	1080P: 1920 x 1080 @ 60Hz	1920 x 1080i @ 60Hz	
640 x 480 @ 75Hz	1280 x 1024 @ 60Hz	WUXGA: 1920 x 1200 @ 60Hz (RB)	720 (1440) x 480i @ 60Hz	
800 x 600 @ 56Hz	1680 x 1050 @ 60Hz		1920 x 1080p @ 60Hz	
800 x 600 @ 60Hz	1280 x 720 @ 60Hz		720 x 576p @ 50Hz	
800 x 600 @ 72Hz	1280 x 720 @ 120Hz		1280 x 720p @ 50Hz	
800 x 600 @ 75Hz	1600 x 1200 @ 60Hz		1920 x 1080i @ 50Hz	
832 x 624 @ 75Hz	1080P/WUXGA:		720 (1440) x 576i @ 50Hz	
1024 x 768 @ 60Hz	1280 x 720 @ 60Hz		1920 x 1080p @ 50Hz	
1024 x 768 @ 70Hz	1280 x 800 @ 60Hz		1920 x 1080p @ 24Hz	
1024 x 768 @ 75Hz	1400 x 1050 @ 60Hz		1920 x 1080p @ 30Hz	
1280 x 1024 @ 75Hz	1600 x 1200 @ 60Hz			
1152 x 870 @ 75Hz	1440 x 900 @ 60Hz			
	1280 x 720 @ 120Hz			
	1024 x 768 @ 120Hz			

追加情報

True 3D*ビデオ互換性*

入力解像度	HDMI 1.4a 3D 入力	入力タイミング		
		1280 x 720P @ 50Hz	トップアンドボトム	
		1280 x 720P @ 60Hz	トップアンドボトム	
		1280 x 720P @ 50Hz	フレームパッキング	
		1280 x 720P @ 60Hz	フレームパッキング	
		1920 x 1080i @ 50Hz	サイドバイサイド(ハーフ)	
		1920 x 1080i @ 60Hz	サイドバイサイド(ハーフ)	
		1920 x 1080P @ 24Hz	トップアンドボトム	
		1920 x 1080P @ 24Hz	フレームパッキング	
	HDMI 1.3	1920 x 1080i @ 50Hz	サイドバイサイド(ハーフ)	SBS モードがオン
		1920 x 1080i @ 60Hz		
		1280 x 720P @ 50Hz		
		1280 x 720P @ 60Hz		
		1920 x 1080i @ 50Hz	トップアンドボトム	TAB モードがオン
		1920 x 1080i @ 60Hz		
		1280 x 720P @ 50Hz		
		1280 x 720P @ 60Hz		
		480i	HQFS	3D フォーマットが Frame Sequential

追加情報

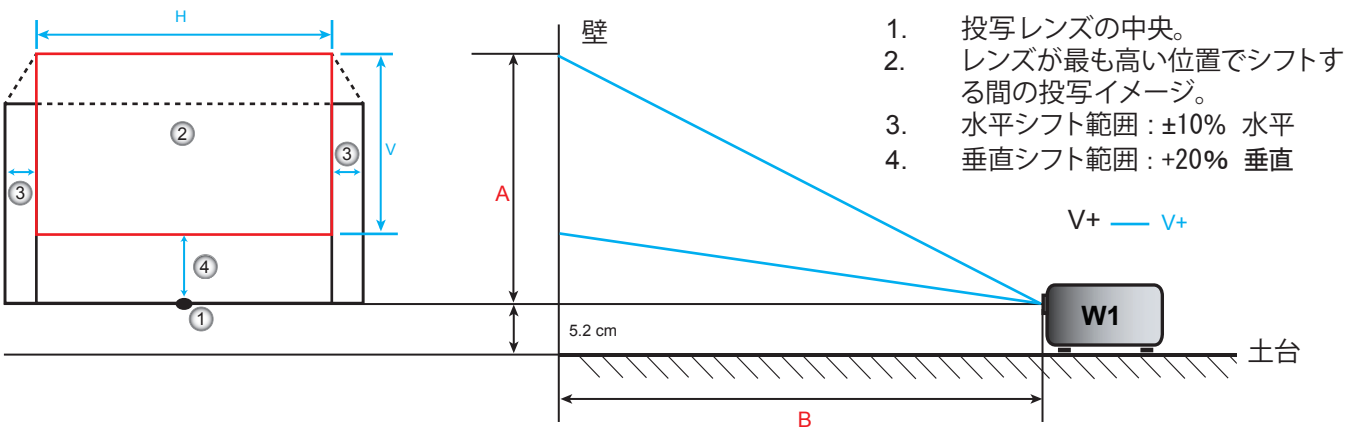
イメージサイズと投写距離

(16:10)

希望のイメージサイズ				投写距離 (B)	
対角		幅	高さ	最短(ワイド)	最長(テレ)
m	インチ	m	m	m	m
0.91	36	0.78	0.48	0.93	1.67
1.02	40	0.86	0.54	1.03	1.86
1.27	50	1.08	0.67	1.29	2.33
1.52	60	1.29	0.81	1.55	2.79
1.78	70	1.51	0.94	1.81	3.26
2.03	80	1.72	1.08	2.07	3.72
2.29	90	1.94	1.21	2.33	4.19
2.54	100	2.15	1.35	2.58	4.65
3.05	120	2.58	1.62	3.10	5.58
3.81	150	3.23	2.02	3.88	6.98
4.57	180	3.88	2.42	4.65	8.37
5.08	200	4.31	2.69	5.17	9.30
6.35	250	5.38	3.37	6.46	11.63
7.62	300	6.46	4.04	7.75	13.96

レンズシフト範囲				
	PJ レンズ、イメージの中央から上端		イメージシフト範囲	
インチ	垂直 + (最大) (A)	1% 水平位置の垂直範囲	水平 + (右)	水平 - (左)
36	58.2	8.6	7.8	7.8
40	64.6	9.7	8.6	8.6
50	80.8	12.1	10.8	10.8
60	96.9	14.6	12.9	12.9
70	113.1	16.9	15.1	15.1
80	129.2	19.4	17.2	17.2
90	145.4	21.8	19.4	19.4
100	161.5	24.3	21.5	21.5
120	193.9	29.2	25.9	25.9
150	242.3	36.4	32.3	32.3
180	290.8	43.6	38.8	38.8
200	323.1	48.4	43.1	43.1
250	403.9	60.7	53.9	53.9
300	484.6	72.7	64.6	64.6

注記: *垂直シフト範囲 = メートル単位のイメージの高さ* × 100 × (0.1-0.1/0.1× *(センチメートル単位の水平位置 / センチメートル単位のイメージの幅)*。



1. 投写レンズの中央。
2. レンズが最も高い位置でシフトする間の投写イメージ。
3. 水平シフト範囲 : ±10% 水平
4. 垂直シフト範囲 : +20% 垂直

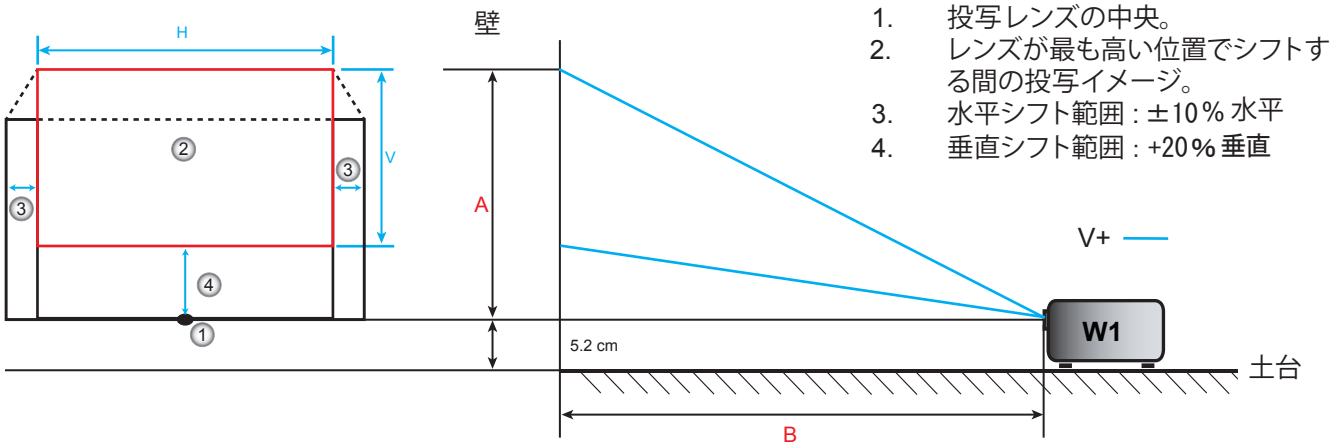
追加情報

(16:9)

希望のイメージサイズ				投写距離 (B)	
対角		幅	高さ	最短(ワイド)	最長(テレ)
m	インチ	m	m	m	m
0.91	36	0.80	0.45	0.96	1.72
1.02	40	0.89	0.5	1.06	1.91
1.27	50	1.11	0.62	1.33	2.39
1.52	60	1.33	0.75	1.59	2.87
1.78	70	1.55	0.87	1.86	3.35
2.03	80	1.77	1.0	2.13	3.83
2.29	90	1.99	1.12	2.39	4.30
2.54	100	2.21	1.25	2.66	4.78
3.05	120	2.66	1.49	3.19	5.74
3.81	150	3.32	1.87	3.98	7.17
4.57	180	3.98	2.24	4.78	8.61
5.08	200	4.43	2.49	5.31	9.56
6.35	250	5.53	3.11	6.64	11.95
7.62	300	6.64	3.74	7.97	14.35

レンズシフト範囲				
	PJ レンズ、イメージの中央から上端		イメージシフト範囲	
インチ	垂直 + (最大) (A)	1% 水平位置の垂直範囲	水平 + (右)	水平 - (左)
36	53.8	8.1	8.0	8.0
40	59.8	9.0	8.9	8.9
50	74.7	11.2	11.1	11.1
60	89.7	13.5	13.3	13.3
70	104.6	15.7	15.5	15.5
80	119.5	18.0	17.7	17.7
90	134.5	20.2	19.9	19.9
100	149.4	22.4	22.1	22.1
120	179.3	26.7	26.6	26.6
150	224.1	33.6	33.2	33.2
180	298.9	40.4	39.9	39.9
200	267	44.8	44.3	44.3
250	373.6	56.0	55.4	55.4
300	448.3	67.2	66.4	66.4

注記: *垂直シフト範囲 = メートル単位のイメージの高さ* ×100×(0.1-0.1/0.1)×(*センチメートル単位の水平位置 / センチメートル単位のイメージの幅*)。



1. 投写レンズの中央。
2. レンズが最も高い位置でシフトする間の投写イメージ。
3. 水平シフト範囲 : ±10 % 水平
4. 垂直シフト範囲 : +20 % 垂直

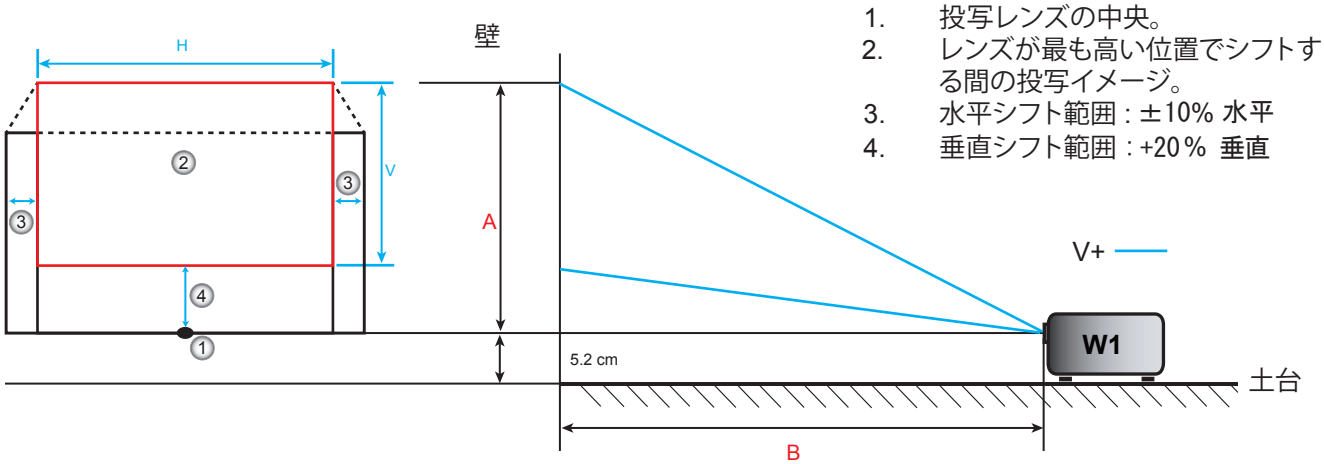
追加情報

(4:3)

希望のイメージサイズ				投写距離 (B)	
対角		幅	高さ	最短(ワイド)	最長(テレ)
m	インチ	m	m	m	m
0.91	36	0.73	0.55	1.06	1.91
1.02	40	0.81	0.61	1.16	2.09
1.27	50	1.02	0.76	1.46	2.63
1.52	60	1.22	0.91	1.74	3.14
1.78	70	1.42	1.07	2.05	3.70
2.03	80	1.63	1.22	2.34	4.21
2.29	90	1.83	1.37	2.64	4.75
2.54	100	2.03	1.52	2.92	5.26
3.05	120	2.44	1.83	3.52	6.33
3.81	150	3.05	2.29	4.39	7.91
4.57	180	3.66	2.74	5.26	9.47
5.08	200	4.06	3.05	5.85	10.54
6.35	250	5.08	3.81	7.31	13.17
7.62	300	6.1	4.57	8.78	15.80

レンズシフト範囲				
	PJ レンズ、イメージの中央から上端		イメージシフト範囲	
インチ	垂直 + (最大) (A)	1% 水平位置の垂直範囲	水平 + (右)	水平 - (左)
36	65.8	9.9	7.3	7.3
40	73.2	11.0	8.1	8.1
50	91.4	13.7	10.2	10.2
60	109.7	16.5	12.2	12.2
70	128.0	19.2	14.2	14.2
80	146.3	22.0	16.3	16.3
90	164.6	24.7	18.3	18.3
100	182.9	27.4	20.3	20.3
120	219.5	32.9	24.4	24.4
150	274.3	41.2	30.5	30.5
180	329.2	49.4	36.6	36.6
200	365.8	54.9	40.6	40.6
250	457.2	68.6	50.8	50.8
300	548.6	82.3	61.0	61.0

注記: *垂直シフト範囲 = メートル単位のイメージの高さ* × 100 × (0.1-0.1/0.1) × (*センチメートル単位の水平位置 / センチメートル単位のイメージの幅*)。



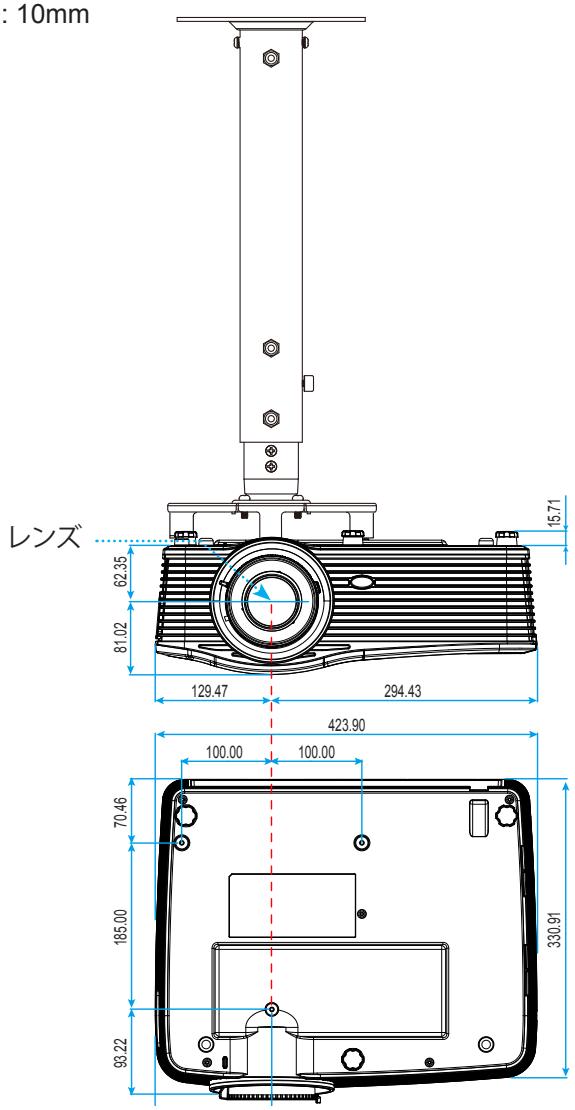
1. 投写レンズの中央。
2. レンズが最も高い位置でシフトする間の投写イメージ。
3. 水平シフト範囲 : ±10% 水平
4. 垂直シフト範囲 : +20 % 垂直

追加情報

プロジェクターの寸法と天井取り付け

他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してくださ い。

- ネジの種類: M4×3
- 最小ネジ長: 10mm



単位: mm

注記: *プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。*

警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

追加情報

RS232プロトコル機能リスト

通信速度: 9600
データビット: 8
パリティ: なし
停止ビット: 1
フロー制御: なし
UART16550 FIFO: 無効
プロジェクター復帰(成功): P
プロジェクター復帰(失敗): F　　XX=01-99、プロジェクターの ID、XX=00 はすべてのプロジェクター用

注記: *すべての* ASCII*コマンドの後に* <CR> *が付きます。*0D*は* ASCII*コードでの* <CR> *の* HEX *コードです。*

SEND to projector			
232 ASCII Code	**HEX Code**	**Function**	**Description**
~XX00 1	7E 30 30 30 30 20 31 0D	Power ON	
~XX00 0	7E 30 30 30 30 20 30 0D	Power OFF	(0/2 for backward compatible)
~XX00 1 ~nnnn	7E 30 30 30 30 20 31 20 a 0D	Power ON with Password	~nnnn = ~0000 (a=7E 30 30 30 30) ~9999 (a=7E 39 39 39 39)
~XX01 1	7E 30 30 30 31 20 31 0D	Resync	
~XX02 1	7E 30 30 30 32 20 31 0D	AV Mute	On
~XX02 0	7E 30 30 30 32 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)
~XX03 1	7E 30 30 30 33 20 31 0D	Mute	On
~XX03 2	7E 30 30 30 33 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)
~XX04 1	7E 30 30 30 34 20 31 0D	Freeze	
~XX04 0	7E 30 30 30 34 20 30 0D	Unfreeze	(0/2 for backward compatible)
~XX05 1	7E 30 30 30 35 20 31 0D	Zoom Plus	
~XX06 1	7E 30 30 30 36 20 31 0D	Zoom Minus	
~XX12 1	7E 30 30 31 32 20 31 0D	Direct Source Commands	HDMI1
~XX12 15	7E 30 30 31 32 20 31 35 0D		HDMI2
~XX12 20	7E 30 30 31 32 20 32 30 0D		Displayport
~XX12 5	7E 30 30 31 32 20 35 0D		VGA1
~XX12 8	7E 30 30 31 32 20 38 0D		VGA1 Component
~XX12 6	7E 30 30 31 32 20 36 0D		VGA 2
~XX12 13	7E 30 30 31 32 20 31 33 0D		VGA2 Component
~XX12 9	7E 30 30 31 32 20 39 0D		S-Video
~XX12 10	7E 30 30 31 32 20 31 30 0D		Video
~XX12 21	7E 30 30 31 32 20 32 31 0D		HDBaseT (only exists in "T" SKU)
~XX20 1	7E 30 30 32 30 20 31 0D	Display Mode	Presentation
~XX20 2	7E 30 30 32 30 20 32 0D		Bright
~XX20 3	7E 30 30 32 30 20 33 0D		Movie
~XX20 4	7E 30 30 32 30 20 34 0D		sRGB
~XX20 5	7E 30 30 32 30 20 35 0D		User
~XX20 7	7E 30 30 32 30 20 37 0D		Blackboard
~XX20 13	7E 30 30 32 30 20 31 33 0D		DICOM SIM.
~XX20 9	7E 30 30 32 30 20 39 0D		3D
~XX21 n	7E 30 30 32 31 20 a 0D	Brightness	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX22 n	7E 30 30 32 32 20 a 0D	Contrast	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX23 n	7E 30 30 32 33 20 a 0D	Sharpness	n = 1 (a=31) ~ 15 (a=31 35)
~XX45 n	7E 30 30 34 34 20 a 0D	Color (Saturation)	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX44 n	7E 30 30 34 34 20 a 0D	Tint	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX196 n	7E 30 30 31 39 36 20 a 0D	Noise Reduction	n = 1 (a=31) ~ 10 (a=31 30)
~XX34 n	7E 30 30 33 34 20 a 0D	BrilliantColor™	n = 1 (a=31) ~ 10 (a=31 30)
~XX191 1	7E 30 30 31 39 31 20 31 0D	DynamicBlack	On
~XX191 0	7E 30 30 31 39 31 20 30 0D		Off(0/2 for backward compatible)
~XX35 1	7E 30 30 33 35 20 31 0D	Gamma	Film
~XX35 3	7E 30 30 33 35 20 33 0D		Graphics
~XX35 7	7E 30 30 33 35 20 37 0D		2.2
~XX35 5	7E 30 30 33 35 20 35 0D		1.8
~XX35 6	7E 30 30 33 35 20 36 0D		2.0

追加情報

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Description	
~XX35 8	7E 30 30 33 35 20 38 0D		2.6	
~XX35 10	7E 30 30 33 35 20 31 30 0D		Blackboard	
~XX35 11	7E 30 30 33 35 20 31 31 0D		DICOM	
~XX36 4	7E 30 30 33 36 20 34 0D	Color Temp.	Warm	
~XX36 1	7E 30 30 33 36 20 31 0D		Standard	
~XX36 2	7E 30 30 33 36 20 32 0D		Cool	
~XX36 3	7E 30 30 33 36 20 33 0D		Cold	
~XX37 1	7E 30 30 33 37 20 31 0D	Color Space	Auto	
~XX37 2	7E 30 30 33 37 20 32 0D		RGB\ RGB(0-255)	
~XX37 3	7E 30 30 33 37 20 33 0D		YUV	
~XX37 4	7E 30 30 33 37 20 34 0D		RGB(16 - 235)	
~XX24 n	7E 30 30 32 34 20 a 0D	RGB Gain/Bias	Red Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX25 n	7E 30 30 32 35 20 a 0D		Green Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX26 n	7E 30 30 32 36 20 a 0D		Blue Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX27 n	7E 30 30 32 37 20 a 0D		Red Bias	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX28 n	7E 30 30 32 38 20 a 0D		Green Bias	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX29 n	7E 30 30 32 39 20 a 0D		Blue Bias	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX327 n	7E 30 30 33 32 37 20 a 0D	Color Matching	Red Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX333 n	7E 30 30 33 33 33 20 a 0D		Red Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX339 n	7E 30 30 33 33 39 20 a 0D		Red Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX328 n	7E 30 30 33 32 38 20 a 0D		Green Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX334 n	7E 30 30 33 33 34 20 a 0D		Green Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX340 n	7E 30 30 33 34 30 20 a 0D		Green Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX329 n	7E 30 30 33 32 39 20 a 0D		Blue Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX335 n	7E 30 30 33 33 35 20 a 0D		Blue Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX341 n	7E 30 30 33 34 31 20 a 0D		Blue Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX330 n	7E 30 30 33 33 30 20 a 0D		Cyan Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX336 n	7E 30 30 33 33 36 20 a 0D		Cyan Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX342 n	7E 30 30 33 34 32 20 a 0D		Cyan Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX331 n	7E 30 30 33 33 31 20 a 0D		Yellow Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX337 n	7E 30 30 33 33 37 20 a 0D		Yellow Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX343 n	7E 30 30 33 34 33 20 a 0D		Yellow Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX332 n	7E 30 30 33 33 32 20 a 0D		Magenta Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX338 n	7E 30 30 33 33 38 20 a 0D		Magenta Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX344 n	7E 30 30 33 34 34 20 a 0D		Magenta Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX345 n	7E 30 30 33 34 35 20 a 0D	White	Red	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX346 n	7E 30 30 33 34 36 20 a 0D		Green	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX347 n	7E 30 30 33 34 37 20 a 0D		Blue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX215 1	7E 30 30 32 31 35 20 31 0D	Reset		
~XX73 n	7E 30 30 37 33 20 a 0D	Signal (RGB)	Frequency	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By signal
~XX91 1	7E 30 30 39 31 20 31 0D		Automatic	On
~XX91 0	7E 30 30 39 31 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX74 n	7E 30 30 37 34 20 a 0D		Phase	n = 0 (a=30) ~ 31 (a=33 31) By signal
~XX75 n	7E 30 30 37 35 20 a 0D		H. Position	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By timing
~XX76 n	7E 30 30 37 36 20 a 0D		V. Position	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By timing
~XX200 n	7E 30 30 32 30 30 20 a 0D	Signal(Video)	White Level	n = 0 (a=30) ~ 31 (a=33 31)
~XX201 n	7E 30 30 32 30 31 20 a 0D		Black Level	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35)
~XX204 1	7E 30 30 32 30 30 24 20 31 0D		0 IRE	
~XX204 0	7E 30 30 32 30 30 24 20 30 0D		7.5 IRE	
~XX60 1	7E 30 30 36 30 20 31 0D	Format	4:3	
~XX60 2	7E 30 30 36 30 20 32 0D		16:9	
~XX60 3	7E 30 30 36 30 20 33 0D		16:10(WXGA, WUXGA)	
~XX60 5	7E 30 30 36 30 20 35 0D		LBX	

追加情報

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Description	
~XX60 6	7E 30 30 36 30 20 36 0D		Native	
~XX60 7	7E 30 30 36 30 20 37 0D		Auto	
~XX61 n	7E 30 30 36 31 20 a 0D	Edge mask		n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)
~XX62 n	7E 30 30 36 32 20 a 0D	Zoom		n = -5 (a=2D 35) ~ 25 (a=32 35)
~XX63 n	7E 30 30 36 33 20 a 0D	H Image Shift		n = -100 (a=2D 31 30 30) ~ 100 (a=31 30 30)
~XX64 n	7E 30 30 36 34 20 a 0D	V Image Shift		n = -100 (a=2D 31 30 30) ~ 100 (a=31 30 30)
~XX65 n	7E 30 30 36 35 20 a 0D	H Keystone		n = -30 (a=2D 33 30) ~ 40 (a=33 30)
~XX66 n	7E 30 30 36 36 20 a 0D	V Keystone		n = -30 (a=2D 33 30) ~ 40 (a=33 30)
~XX69 1	7E 30 30 36 39 20 31 0D	Auto V.Keystone	On	
~XX69 0	7E 30 30 36 39 20 30 0D	Auto V. Keystone	Off	
~XX59 1	7E 30 30 35 39 20 31 0D	Four corners (Top-Left)	Right+	
~XX59 2	7E 30 30 35 39 20 32 0D		Left+	
~XX59 3	7E 30 30 35 39 20 33 0D		Up+	
~XX59 4	7E 30 30 35 39 20 34 0D		Down+	
~XX59 5	7E 30 30 35 39 20 35 0D	(Top-Right)	Right+	
~XX59 6	7E 30 30 35 39 20 36 0D		Left+	
~XX59 7	7E 30 30 35 39 20 37 0D		Up+	
~XX59 8	7E 30 30 35 39 20 38 0D		Down+	
~XX59 9	7E 30 30 35 39 20 39 0D	(Bottom-Left)	Right+	
~XX59 10	7E 30 30 35 39 20 31 30 0D		Left+	
~XX59 11	7E 30 30 35 39 20 31 31 0D		Up+	
~XX59 12	7E 30 30 35 39 20 31 32 0D		Down+	
~XX59 13	7E 30 30 35 39 20 31 33 0D	(Bottom-Right)	Right+	
~XX59 14	7E 30 30 35 39 20 31 34 0D		Left+	
~XX59 15	7E 30 30 35 39 20 31 35 0D		Up+	
~XX59 16	7E 30 30 35 39 20 31 36 0D		Down+	
~XX230 1	7E 30 30 32 33 30 20 31 0D	3D Mode	DLP-Link	
~XX230 3	7E 30 30 32 33 30 20 31 0D		VESA 3D	
~XX230 0	7E 30 30 32 33 30 20 30 0D		Off	(0/2 for backward compatible)
~XX400 0	7E 30 30 34 30 30 20 30 0D	3D->2D	3D	
~XX400 1	7E 30 30 34 30 30 20 31 0D		L	
~XX400 2	7E 30 30 34 30 30 20 32 0D		R	
~XX405 0	7E 30 30 34 30 35 20 30 0D	3D Format	Auto	
~XX405 1	7E 30 30 34 30 35 20 31 0D		SBS	
~XX405 2	7E 30 30 34 30 35 20 32 0D		Top and Bottom	
~XX405 3	7E 30 30 34 30 35 20 33 0D		Frame sequential	
~XX231 0	7E 30 30 32 33 31 20 30 0D	3D Sync Invert	On	
~XX231 1	7E 30 30 32 33 31 20 31 0D	3D Sync Invert	Off	
~XX70 1	7E 30 30 37 30 20 31 0D	Language	English	
~XX70 2	7E 30 30 37 30 20 32 0D		German	
~XX70 3	7E 30 30 37 30 20 33 0D		French	
~XX70 4	7E 30 30 37 30 20 34 0D		Italian	
~XX70 5	7E 30 30 37 30 20 35 0D		Spanish	
~XX70 6	7E 30 30 37 30 20 36 0D		Portuguese	
~XX70 7	7E 30 30 37 30 20 37 0D		Polish	
~XX70 8	7E 30 30 37 30 20 38 0D		Dutch	
~XX70 9	7E 30 30 37 30 20 39 0D		Swedish	
~XX70 10	7E 30 30 37 30 20 31 30 0D		Norwegian/Danish	
~XX70 11	7E 30 30 37 30 20 31 31 0D		Finnish	
~XX70 12	7E 30 30 37 30 20 31 32 0D		Greek	
~XX70 13	7E 30 30 37 30 20 31 33 0D		Traditional Chinese	
~XX70 14	7E 30 30 37 30 20 31 34 0D		Simplified Chinese	
~XX70 15	7E 30 30 37 30 20 31 35 0D		Japanese	
~XX70 16	7E 30 30 37 30 20 31 36 0D		Korean	
~XX70 17	7E 30 30 37 30 20 31 37 0D		Russian	
~XX70 18	7E 30 30 37 30 20 31 38 0D		Hungarian	

追加情報

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Description
~XX70 19	7E 30 30 37 30 20 31 39 0D		Czechoslovak
~XX70 20	7E 30 30 37 30 20 32 30 0D		Arabic
~XX70 21	7E 30 30 37 30 20 32 31 0D		Thai
~XX70 22	7E 30 30 37 30 20 32 32 0D		Turkish
~XX70 23	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Farsi
~XX70 25	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Vietnamese
~XX70 26	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Indonesian
~XX70 27	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Romanian
~XX71 1	7E 30 30 37 31 20 31 0D	Projection	Front-Desktop
~XX71 2	7E 30 30 37 31 20 32 0D		Rear-Desktop
~XX71 3	7E 30 30 37 31 20 33 0D		Front-Ceiling
~XX71 4	7E 30 30 37 31 20 34 0D		Rear-Ceiling
~XX90 1	7E 30 30 39 30 20 31 0D	Screen Type (WXGA/WUXGA)	16:10
~XX90 0	7E 30 30 39 30 20 30 0D		16:9
~XX72 1	7E 30 30 37 32 20 31 0D	Menu Location	Top Left
~XX72 2	7E 30 30 37 32 20 32 0D		Top Right
~XX72 3	7E 30 30 37 32 20 33 0D		Centre
~XX72 4	7E 30 30 37 32 20 34 0D		Bottom Left
~XX72 5	7E 30 30 37 32 20 35 0D		Bottom Right
~XX77 n	7E 30 30 37 37 20 aabbcc 0D	Security	Security Timer Month/Day/Hour n = mm/dd/hh mm= 00 (aa=30 30) ~ 12 (aa=31 32)dd = 00 (bb=30 30) ~ 30 (bb=33 30) hh= 00 (cc=30 30) ~ 24 (cc=32 34)
~XX78 1	7E 30 30 37 38 20 31 0D	Security	On
~XX78 0 ~nnnn	7E 30 30 37 38 20 30 20 a 0D		Off (0/2 for backward compatible) ~nnnn = ~0000 (a=7E 30 30 30 30) ~9999 (a=7E 39 39 39 39)
~XX79 n	7E 30 30 37 39 20 a 0D	Projector ID	n = 00 (a=30 30) ~ 99 (a=39 39)
~XX310 0	7E 30 30 33 31 30 20 30 0D	Internal Speaker	Off
~XX310 1	7E 30 30 33 31 30 20 31 0D		On
~XX80 1	7E 30 30 38 30 20 31 0D	Mute	On
~XX80 0	7E 30 30 38 30 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)
~XX81 n	7E 30 30 38 31 20 a 0D	Volume(Audio)	n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)
~XX93 n	7E 30 30 39 33 20 a 0D	Volume(Mic)	n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)
~XX89 0	7E 30 30 38 39 20 30 0D	Audio Input	Default
~XX89 1	7E 30 30 38 39 20 31 0D		Audio1
~XX89 3	7E 30 30 38 39 20 33 0D		Audio2
~XX89 4	7E 30 30 38 39 20 34 0D		Audio3
~XX82 1	7E 30 30 38 32 20 31 0D	Logo	Default
~XX82 2	7E 30 30 38 32 20 32 0D		User
~XX82 3	7E 30 30 38 32 20 33 0D		Neutral
~XX83 1	7E 30 30 38 33 20 31 0D	Logo Capture	
~XX88 0	7E 30 30 38 38 20 30 0D	Closed Captioning	Off
~XX88 1	7E 30 30 38 38 20 31 0D		cc1
~XX88 2	7E 30 30 38 38 20 32 0D		cc2
~XX454 0	7E 30 30 34 35 34 20 30(32) 0D	Crestron	Off
~XX454 1	7E 30 30 34 35 34 20 31 0D		On
~XX455 0	7E 30 30 34 35 35 20 30(32) 0D	Extron	Off
~XX455 1	7E 30 30 34 35 35 20 31 0D		On
~XX456 0	7E 30 30 34 35 36 20 30(32) 0D	PJLink	Off
~XX456 1	7E 30 30 34 35 36 20 31 0D		On
~XX457 0	7E 30 30 34 35 37 20 30(32) 0D	AMX Device Discovery	Off
~XX457 1	7E 30 30 34 35 37 20 31 0D		On
~XX458 0	7E 30 30 34 35 38 20 30(32) 0D	Telnet	Off

追加情報

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Description	
~XX458 1	7E 30 30 34 35 38 20 31 0D		On	
~XX459 0	7E 30 30 34 35 38 20 30 0D	HTTP	Off	
~XX459 1	7E 30 30 34 35 38 20 31 0D		On	
~XX39 1	7E 30 30 33 39 20 31 0D	Input Source	HDMI1	
~XX39 7	7E 30 30 33 39 20 37 0D		HDMI2	
~XX39 15	7E 30 30 33 39 20 31 35 0D		Displayport	
~XX39 5	7E 30 30 33 39 20 35 0D		VGA1	
~XX39 6	7E 30 30 33 39 20 36 0D		VGA2	
~XX39 9	7E 30 30 33 39 20 39 0D		S-Video	
~XX39 10	7E 30 30 33 39 20 31 30 0D		Video	
~XX100 1	7E 30 30 31 30 30 20 31 0D	Source Lock	On	
~XX100 0	7E 30 30 31 30 30 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX101 1	7E 30 30 31 30 31 20 31 0D	High Altitude	On	
~XX101 0	7E 30 30 31 30 31 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX102 1	7E 30 30 31 30 32 20 31 0D	Information Hide	On	
~XX102 0	7E 30 30 31 30 32 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX103 1	7E 30 30 31 30 33 20 31 0D	Keypad Lock	On	
~XX103 0	7E 30 30 31 30 33 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX348 1	7E 30 30 33 34 38 20 31 0D	Display Mode Lock	On	
~XX348 0	7E 30 30 33 34 38 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX195 0	7E 30 30 31 39 35 20 30 0D	Test Pattern	None	
~XX195 1	7E 30 30 31 39 35 20 31 0D		Grid	
~XX195 2	7E 30 30 31 39 35 20 32 0D		White Pattern	
~XX104 1	7E 30 30 31 30 34 20 31 0D	Background Color	Blue	
~XX104 2	7E 30 30 31 30 34 20 32 0D		Black	
~XX104 3	7E 30 30 31 30 34 20 33 0D		Red	
~XX104 4	7E 30 30 31 30 34 20 34 0D		Green	
~XX104 5	7E 30 30 31 30 34 20 35 0D		White	
~XX11 0	7E 30 30 31 31 20 30 0D	IR Function	Off	
~XX11 1	7E 30 30 31 31 20 31 0D		On	
~XX11 2	7E 30 30 31 31 20 32 0D		Front	
~XX11 3	7E 30 30 31 31 20 33 0D		Top	
~XX350 n	7E 30 30 33 35 30 20 a 0D	Remote Code	n = 00 (a=30 30) ~ 99 (a=39 39)	
~XX192 0	7E 30 30 31 39 32 20 30 0D	12V Trigger	Off	
~XX192 1	7E 30 30 31 39 32 20 31 0D		On	
~XX105 1	7E 30 30 31 30 35 20 31 0D	Advanced	Direct Power On	On
~XX105 0	7E 30 30 31 30 35 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX113 0	7E 30 30 31 31 33 20 30 0D		Signal Power On	Off
~XX113 1	7E 30 30 31 31 33 20 31 0D			On
~XX106 n	7E 30 30 31 30 36 20 a 0D		Auto Power Off (min)	n = 0 (a=30) ~ 180 (a=31 38 30) (5 minutes for each step).
~XX107 n	7E 30 30 31 30 37 20 a 0D		Sleep Timer (min	n = 0 (a=30) ~ 990 (a=39 39 30) (10 minutes for each step).
~XX507 1	7E 30 30 35 30 37 20 31 0D		Sleep Timer Repeat	On
~XX507 0	7E 30 30 35 30 37 20 30 0D			Off
~XX115 1	7E 30 30 31 31 35 20 31 0D		Quick Resume	On
~XX115 0	7E 30 30 31 31 35 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX114 1	7E 30 30 31 31 34 20 31 0D		Power Mode(Standby)	Eco.(<=0.5W)
~XX114 0	7E 30 30 31 31 34 20 30 0D			Active (0/2 for backward compatible)
~XX109 1	7E 30 30 31 30 39 20 31 0D	Lamp Reminder		On
~XX109 0	7E 30 30 31 30 39 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX110 1	7E 30 30 31 31 30 20 31 0D	Lamp Mode	Bright	
~XX110 2	7E 30 30 31 31 30 20 32 0D		Eco	
~XX110 5	7E 30 30 31 31 30 20 35 0D		Power	

追加情報

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Description
~XX326 n	7E 30 30 33 32 36 20 a 0D	Power 365W/350W/330W/310W/300W/280W (n=0/n=1/n=2/n=3/n=4/n=5/)	
~XX111 1	7E 30 30 31 31 31 20 31 0D	Lamp Reset	Yes
~XX111 0	7E 30 30 31 31 31 20 30 0D		No (0/2 for backward compatible)
~XX320 1	7E 30 30 33 32 30 20 31 0D	Optional Filter Installed	Yes
~XX320 0	7E 30 30 33 32 30 20 30 0D		No (0/2 for backward compatible)
~XX322 0	7E 30 30 33 32 32 20 30 0D	Filter Reminder	Off
~XX322 1	7E 30 30 33 32 32 20 31 0D		300 hrs
~XX322 2	7E 30 30 33 32 32 20 32 0D		500 hrs
~XX322 3	7E 30 30 33 32 32 20 33 0D		800 hrs
~XX322 4	7E 30 30 33 32 32 20 34 0D		1000 hrs
~XX323 1	7E 30 30 33 32 33 20 31 0D	Filter Reset	Yes
~XX323 0	7E 30 30 33 32 33 20 30 0D		No (0/2 for backward compatible)
~XX313 1	7E 30 30 33 31 33 20 31 0D	Information menu	On
~XX313 0	7E 30 30 33 31 33 20 30 0D		Off(0/2 for backward compatible)
~XX112 1	7E 30 30 31 31 32 20 31 0D	Reset	Yes
~XX210 n	7E 30 30 32 30 30 20 n 0D	Display message on the OSD	n: 1-30 characters
SEND to emulate Remote			
~XX140 10	7E 30 30 31 34 30 20 31 30 0D	Up	
~XX140 11	7E 30 30 31 34 30 20 31 31 0D	Left	
~XX140 12	7E 30 30 31 34 30 20 31 32 0D	Enter (for projection MENU)	
~XX140 13	7E 30 30 31 34 30 20 31 33 0D	Right	
~XX140 14	7E 30 30 31 34 30 20 31 34 0D	Down	
~XX140 15	7E 30 30 31 34 30 20 31 35 0D	V Keystone +	
~XX140 16	7E 30 30 31 34 30 20 31 36 0D	V Keystone -	
~XX140 17	7E 30 30 31 34 30 20 31 37 0D	Volume -	
~XX140 18	7E 30 30 31 34 30 20 31 38 0D	Volume +	
~XX140 20	7E 30 30 31 34 30 20 32 30 0D	Menu	
~XX140 47	7E 30 30 31 34 30 20 34 37 0D	Source	

SEND from projector automatically				
232 ASCII Code	**HEX Code**	**Function**	**Projector Return**	**Description**
when Standby/Cooling/Out of Range/Lamp fail/Fan Lock/Over Temperature/ Lamp Hours Running Out/Cover Open			INFOn	n : 0/1/2/3/4/6/7/8/9 = Standby/Cooling/Out of Range/Lamp fail/Fan Lock/Over Temperature/Lamp Hours Running Out/Cover Open

READ from projector				
232 ASCII Code	**HEX Code**	**Function**	**Projector Return**	**Description**
~XX121 1	7E 30 30 31 32 31 20 31 0D	Input Source Commands	Okn	n = 0 None n = 7 HDMI1 n = 8 HDMI2 n = 15 Displayport n = 2 VGA1 n = 3 VGA2 n = 5 Video n = 4 S-Video n = 16 HDbaseT

追加情報

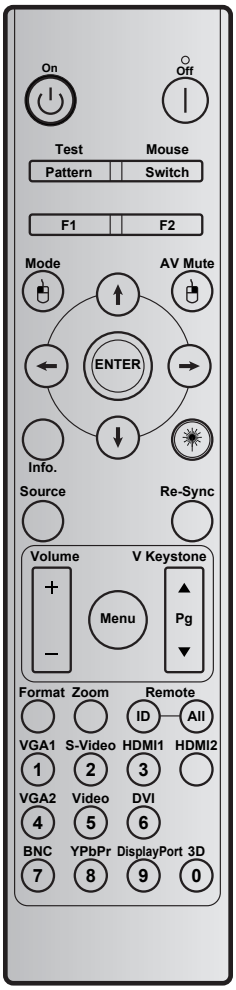
232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
~XX122 1	7E 30 30 31 32 32 20 31 0D	Sofware Version	OKdddd	dddd: FW version
~XX357 1	7E 30 30 33 35 34 20 31 0D	LAN FW version	Okeeeee	eeeee: LAN FW version
~XX123 1	7E 30 30 31 32 33 20 31 0D	Display Mode	Okn	n = 0 None n = 1 Presentation n = 2 Bright/ n = 3 Movie n = 4 sRGB n = 5 User n= 7 Blackboard n = 12 DICOM SIM. n = 9 3D
~XX124 1	7E 30 30 31 32 34 20 31 0D	Power State	OKn	n : 0/1 = Off/On
~XX125 1	7E 30 30 31 32 35 20 31 0D	Brightness	OKn	
~XX126 1	7E 30 30 31 32 36 20 31 0D	Contrast	OKn	
~XX127 1	7E 30 30 31 32 37 20 31 0D	Format	OKn	n = 1 4:3 n = 2 16:9 n = 3 16:10 n = 5 LBX n = 6 Native n = 7 Auto
*16:9 or 16:10 depend on Screen Type setting				
~XX128 1	7E 30 30 31 32 38 20 31 0D	Color Temperature	Okn	n = 0 Standard n = 1 Cool n = 2 Cold n = 3 Warm
~XX129 1	7E 30 30 31 32 39 20 31 0D	Projection Mode	OKn	n = 0 Front-Desktop n = 1 Rear-Desktop n = 2 Front-Ceiling n = 3 Rear-Ceiling
~XX150 1	7E 30 30 31 35 30 20 31 1D	Information	Okabbbbbccd ddde	a = Power Status a = 0 Power Off a = 1 Power On b = Lamp Hour bbbbb Lamp Hour cc = Source cc = 00 None cc = 02 VGA1 cc = 03 VGA2 cc = 04 S-Video cc = 05 Video cc = 07 HDMI1 cc = 08 HDMI2 cc = 15 Displayport cc = 16 HDBaseT d = Firmware Version dddd Firmware Version e = Display mode ee=00 None ee=01 Presentation ee=02 Bright ee=03 Movie ee=04 sRGB ee=05 User ee=07 Blackboard ee=09 3D ee=12 DICOM SIM.

追加情報

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
~XX151 1	7E 30 30 31 35 31 20 31 0D	Model name	OKn	n = 3 WXGA n = 4 1080p n = 5 WUXGA
~XX108 1	7E 30 30 31 30 38 20 31 0D	Lamp Hours	OKbbbb	bbbb: LampHour
~XX108 2	7E 30 30 31 30 38 20 32 0D	Cumulative Lamp Hours	OKbbbbb	bbbbb: (5 digits) Total Lamp Hours
~XX321 1	7E 30 30 33 32 31 20 31 0D	Filter Usage Hours	OKbbbb	bbbb: Filter Usage Hours
~XX87 1	7E 30 30 38 37 20 31 0D	Network Status	Okn	n=0/1 Disconnected/Connected
~XX87 3	7E 30 30 38 37 20 33 0D	IP Address	Okaaa_bbb_ccc_ddd	
~XX351 0	7E 30 30 33 35 31 20 30 0D	Fan1 speed(blower)	Okaaaa	a=0000~9999
~XX352 1	7E 30 30 33 35 32 20 31 0D	System temperature	Okaaa	a=000~999
~XX353 1	7E 30 30 33 35 33 20 31 0D	Serial number	Okaaaaaaaaaa aaaaaaa	a=serial number string
~XX354 1	7E 30 30 33 35 34 20 31 0D	Closed Captioning	Oka	a: 0/1/2 = off/cc1/cc2
~XX355 1	7E 30 30 33 35 35 20 31 0D	AV Mute	Oka	a : 0/1 = Off/On
~XX356 1	7E 30 30 33 35 36 20 31 0D	Mute	Oka	a : 0/1 = Off/On
~XX358 1	7E 30 30 33 35 38 20 31 0D	Current Lamp Watt	Okaaaa	aaaa=0000~9999

追加情報

IR リモートコード



キー		キーコード	印刷キーの定義	説明
Power On	⏻	2	オン	16～19 ページの [プロジェクターの電源オン/オフ] を参照してください。
Power Off	|	2E	オフ	18～19 ページの [プロジェクターの電源オン/オフ] を参照してください。
Test	**パターン**	34	テストパターン	テストパターン。
Mouse	**スイッチ**	3E	スイッチ	押すとプロジェクター の USB マウスがオン/オフが切り替わります。
F1		26	F1	プログラミング可能なファンクションボタン。
F2		27	F2	プログラミング可能なファンクションボタン。
マウスの左クリック		CB	L	マウスのスイッチが入っているときにマウスの左クリックとして使用します。
Mode		95	モード	ディスプレイモードメニューのオン/オフ。
4 方向選択キー	↑	C6	上矢印	↑↓←→ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
	↓	C7	下矢印	
	←	C8	左矢印	
	→	C9	右矢印	
AV Mute		3	AV 消音	押すとプロジェクターの内蔵スピーカーのオン/オフが切り替わります。

追加情報

キー		キーコード	印刷キーの定義	説明
マウスの右クリック		CC	R	マウスのスイッチが入っているときにマウスの右クリックとして使用します。
Enter		C5	入力する	選択した項目を確定します。
Info.		25	情報	プロジェクター情報を表示します。
レーザー		該等なし	レーザー	レーザーポインタとして使用します。
Re-Sync	**再同期**	4	再同期	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
Source	**ソース**	18	ソース	[Source] を押して入力信号を選択します。
Volume		9	音量 +	押すと音量が大きくなります。
		0C	音量 -	押すと音量が小さくなります。
Menu	**メニュー**	88	メニュー	[Menu] を押してオンスクリーン (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、もう一度 [Menu] を押します。
V Keystone +	▲	85	垂直キーストン +	▲ を使用して、プロジェクターを斜め方向から投写することにより生じる、画像のゆがみを調整します。
前ページ		0A	ページ +	使用するとページの上に移動します。
V Keystone -	▼	84	垂直キーストン -	▼ を使用して、プロジェクターを斜め方向から投写することにより生じる、画像のゆがみを調整します。
次ページ		0D	ページ -	使用するとページの下に移動します。
Format		15	フォーマット	押すとプロジェクターの形式が選択されます。
Zoom		61	ズーム	投写されるイメージを拡大/縮小します。
Remote	ID	3201~3299		電源 LED が点滅するまで押し、01 ～ 99 を押して特定のリモートコードを設定します。
	All	32CD		押すとリモートコードが全部に設定されます。
VGA1 / 1		8E	1/VGA1	• 押して VGA ソースを選択します。 • テンキーの [1] として使用します。
S-Video / 2		1D	2/S-Video	• 押すと S-ビデオソースが選択されます。 • テンキーの [2] として使用します。
HDMI1 / 3		16	3/HDMI1	• 押して HDMI ソースを選択します。 • テンキーの [3] として使用します。
HDMI2		9B	HDMI2	押して HDMI ソースを選択します。
VGA2 / 4		9A	4/VGA2	• 押すと VGA2 ソースが選択されます。 • テンキーの [4] として使用します。
Video / 5		1C	5/Video	• 押してコンポジット ビデオ ソースを選択します。 • テンキーの [5] として使用します。
DVI / 6		19	6/DVI	• 押して DVI ソースを選択します。 • テンキーの [6] として使用します。
BNC / 7		1A	7/BNC	• 押して BNC ソースを選択します。 • テンキーの [7] として使用します。
YPbPr / 8		17	8/YPbPr	• 押すとコンポーネントビデオソースが選択されます。 • テンキーの [8] として使用します。
Display Port / 9		9F	9/DisplayPort	• 押すとディスプレーポートが選択されます。 • テンキーの [9] として使用します。
3D / 0		89	0/3D	• 押すと 3D ソースが選択されます。 • テンキーの [0] として使用します。

追加情報

注記:

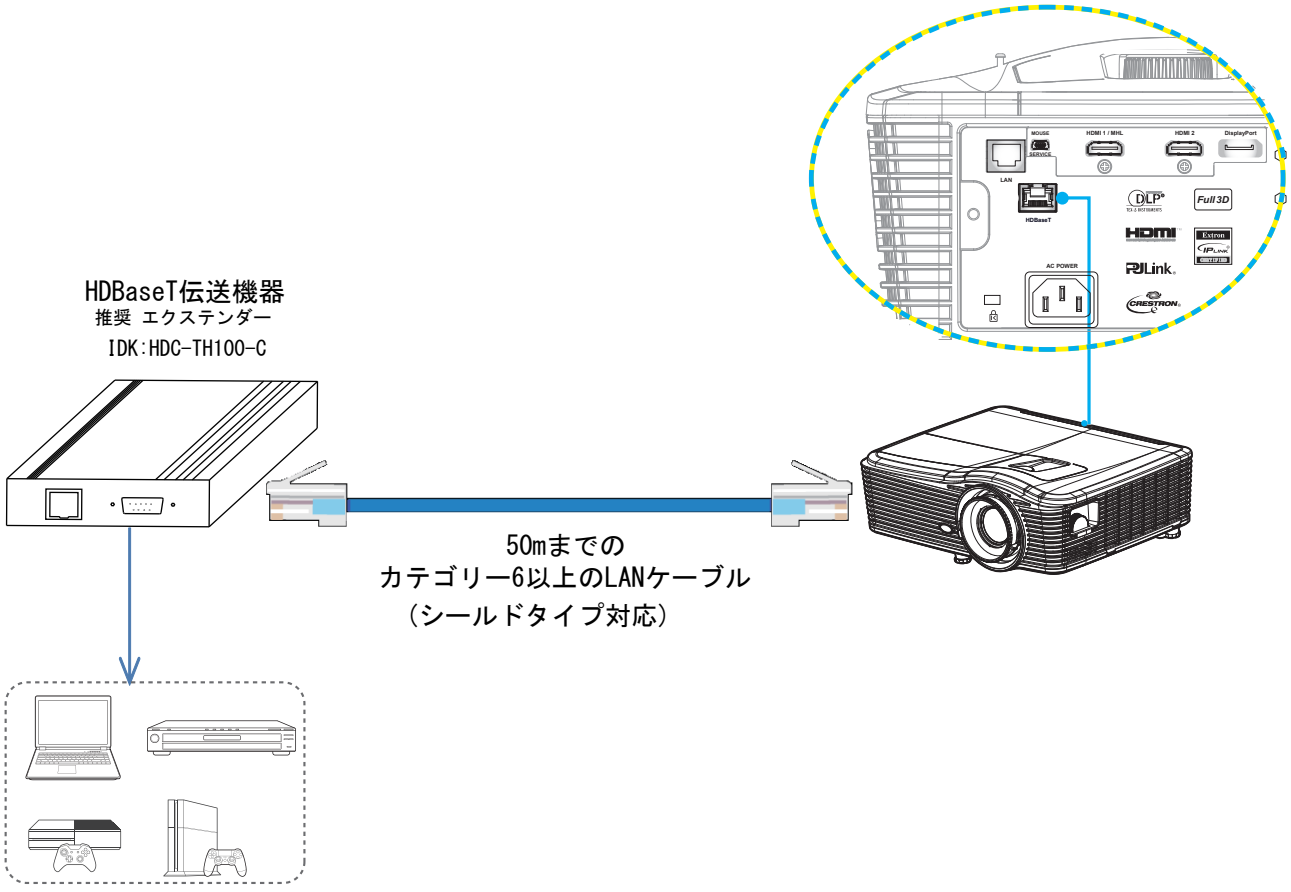
- *プロジェクターが Dynamic Eco / Image Care 機能に対応している場合、AV Mute を押すと、ランプの電力消費が 30% になります。*

リモートマウス機能のシミュレーション仕様

- リモートマウス機能は、VGA や HDMI など、コンピューターソースが選択されているときにのみサポートされます。
- リモコンの [スイッチ] キーを押すと、画面の右上隅にカーソルが 15 秒間表示されます。
- リモートマウスモードでは、カーソルが画面を滑らかに連続して動くはずです。
- リモコンの [スイッチ] キーを押すと、V キーストーンがページ上/ページ下モードに切り替わります。

HDBaseT

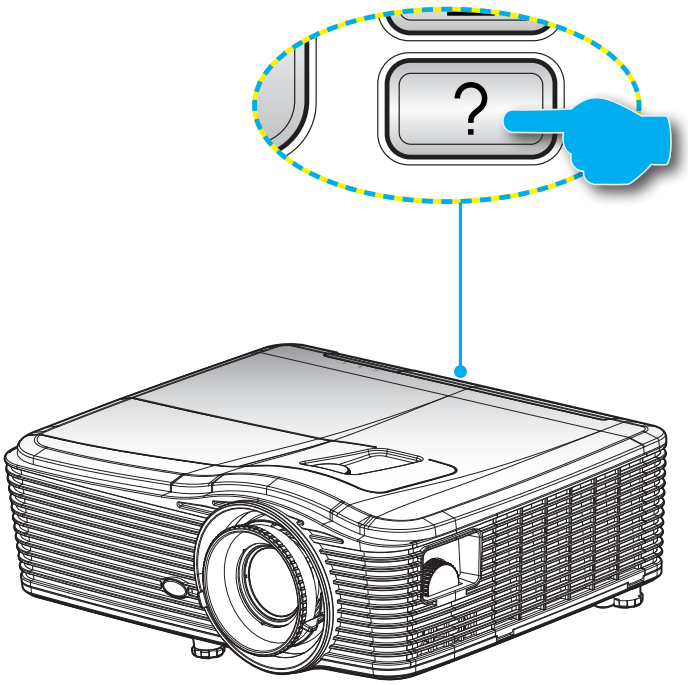
- HDBaseT機能をお使いの場合はHDBaseTトランスミッターに添付の取扱説明書をよくお読みください。
- LANケーブルはカテゴリー6または6eをお使いください。



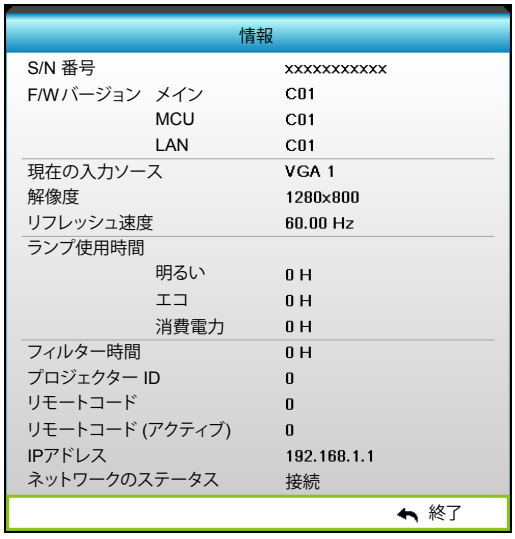
追加情報

情報ボタンを使用する

情報機能を使えば、簡単に設定し、操作できます。キーパッドの [**?**] ボタンを押すと、情報メニューが開きます。



- **情報**ボタンは入力ソースが検出されないときにのみ機能します。



追加情報

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

スクリーンに画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、[設置方法] の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- 映写用ランプがしっかり取り付けられているか、チェックします。[ランプの交換] を参照してください。
- レンズキャップを取り外し、プロジェクターのスイッチがオンになっていることを確認します。
- [AV 消音] 機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- レンズのキャップを取り外していることを確認してください。
- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。
- 投写画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(*70-73* ページを参照してください)。

16:9 DVD*を再生表示しているとき、画像が伸びる*

- 映像が横長のDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で16:9フォーマットで最高の画像を表示します。
- LBXフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターのOSDでLBXとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSDで4:3としてフォーマットを変更してください。
- それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を 変更する必要があります:
- お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

画像が大きすぎるか、小さすぎる。

- プロジェクター上部のズームレバーを調整します。
- プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりします。
- プロジェクターパネルの [Menu] を押し、[ディスプレー-->フォーマット] に進みます。別の設定を試してみます。

画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- 調整を行うには、OSDから [ディスプレー-->垂直キーストン] を使用します。

画像が反転する

- OSDから [設定-->投写方式] を選択し、投写方向を調整します。

追加情報

ぼやけた二重画像

- 通常の 2D 画像がぼやけた二重画像にならないよう、[3D映像フォーマット] ボタンを押して [オフ] にしてください。

2*つの画像、サイドバイサイドフォーマット*

- 入力信号が HDMI 1.3 2D 1080i サイドバイサイドとなるように、[3D映像フォーマット] ボタンを押して [Side By Side] に切り替えてください。

3Dで画像が表示されません

- 3D眼鏡のバッテリーが十分かどうか、ご確認ください。
- 3D眼鏡がオンになっているかどうか、ご確認ください。
- 入力信号が HDMI 1.3 2D (1080i サイドバイサイド) になっているとき、[3D映像フォーマット] ボタンを押して [Side By Side] に切り替えてください。

その他の問題

プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。*64-65* ページの [ランプの交換] セクションに記載されている手順に従ってランプを交換してください。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクターのIRレシーバーから水平および垂直方向に±15°以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを 確認する。プロジェクターから 8 m (26 フィート) 以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

追加情報

警告インジケータ

警告インジケータ (以下を参照) がオンになると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

- [ランプ] LED インジケーターが赤く点灯し、[オン/スタンバイ] インジケーターが琥珀色に点滅している場合。
- [TEMP] LED インジケーターが赤く点灯し、[オン/スタンバイ] インジケーターが琥珀色に点滅している場合。この状態は、プロジェクターが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- [温度] LED インジケータが赤く点滅し、[オン/スタンバイ] インジケータが黄色に点滅している場合。
  プロジェクターから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケータが再び点灯したら最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

LED 点灯メッセージ

メッセージ	⏻ ○ 電源 LED	⏻ ○ 電源 LED	温度インジケータ LED	ランプ インジケータ LED
	(赤)	(青)	(赤)	(赤)
待機状態 (入力コード)	不動灯		○	○
電源オン (ウォーミング)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)	○	○
ランプ点灯		不動灯	○	○
電源オフ(冷却)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒ライト)。冷却ファンがオフになると、赤の点灯に戻ります。	○	○
クイック レジューム (100 秒)		点滅 (0.25 秒オフ / 0.25 秒ライト)	○	○
エラー (過熱)	赤色に点滅		☼	○
エラー (ファントラブル)	赤色に点滅		点滅	
エラー (ランプトラブル)	赤色に点滅			☼

追加情報

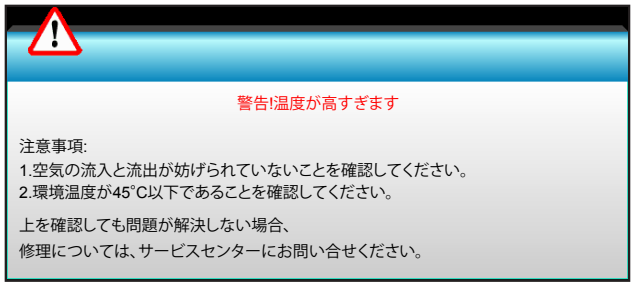
- パワーオフ:



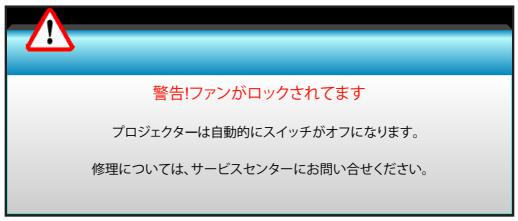
- ランプ警告:



- 温度警告:



- ファンのトラブル:



- 表示範囲外:



追加情報

仕様

光学	説明
最大解像度	- DP の場合、1920 x 1200/85HzRB (最大帯域幅: 282MHz) - HDMI の場合、1080p/75Hz (最大帯域幅: 225MHz)
レンズ	- 手動ズームと手動フォーカス - 15.94 ～ 25.5 mm - WXGA/1080p: 20.77 ～ 31.13 mm
ランプ	- エコモード < = 0.5 W @ 110/220VAC - アクティブモード (>0.5W、<3W) @ 110/220VAC
ライト出力 (レンズシフト中央位置を決定する。)	- 1080p/WXGA: 5000 ルーメン (標準) - WUXGA: 6000 ルーメン (標準)
イメージサイズ (対角)	- WXGA: 24.7"~302.7" - 1080p: 25.1"~309.4" - WUXGA: 25.8"~318"
投写距離	- 2.49m (ワイド) ～ 3.42m (テレ) - WXGA: 2.49m (ワイド) ～ 3.42m (テレ) - 1080p: 2.49m (ワイド) ～ 3.42m (テレ) - WUXGA: 2.49m (ワイド) ～ 3.42m (テレ)

電気	説明
入力	VGA1 In/YPbPr コネクタ、VGA2 In/YPbPr コネクタ、Audio3-In (ビデオ/S-ビデオ) ポート、Audio1-In(VGA1)、Audio2-In(VGA2) ポート
出力	RJ-45 コネクタ、USB-B ミニコネクタ (ファームウェアアップグレード)、HDMI コネクタ、ディスプレーポート、VGA 出力コネクタ、S-ビデオコネクタ、音声出力ポート、USB 出力 (1.5A)、ビデオポート、RS232C コネクタ
LAN ポート	RJ45 (10/100 BASE-T/100 BASE-TX)
サービスポート	USB出力 (1.5A)
色再現	10 億 7300 万色
スキャン速度	- 水平スキャン速度: 15.375 ～ 91.146 KHz - 垂直スキャン速度: 24 ～ 85 Hz (3D 機能の場合、120Hz)
内蔵スピーカー	20W
電力要件	100 - 240V AC 50/60Hz
入力電流	5.1A
電力消費 (標準値)	
エコモードオフ	- 標準 445W 最大 490W @ 100VAC - 標準 425W 最大 470W @ 240VAC
エコモード	- 標準 355W 最大 390W @ 100VAC - 標準 340W 最大 375W @ 240VAC

機械	説明
取り付け方向	フロント、リア、フロント天吊 、リア天吊
寸法	424 mm (W) x 356 mm (D) x 160 mm (H)
質量	5.9 kg
環境条件	稼動: ブライトモードで 5 ～ 40°C (標準モード)、10% ～ 85% 湿度 (結露なし)
	稼動: エコモードで 5 ～ 45°、10% ～ 85% 湿度 (結露なし)

注記: *仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。*

保　　証　　書

1．保証期間内であっても次の場合は有償修理となります。
(1) この保証書のご提示がない場合。
(2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
(3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷。
(4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
(5) 火災や天災等による故障および損傷。
(6) 消耗品および付属品の交換の場合。
2．その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し上げます。
■ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。万一記入が無い場合は直ちにお買い上げ取扱店にお申し出ください。
※ この保証書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only Japan
※ 故障品の修理に要する当社までの運送費はお客様のご負担でお願いいたします。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、取扱店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

型　　式			
シリアル番号			
ご 購 入 日	年　　月　　日	保証期間	1年間

販売店

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター：0120-380-495
https://www.os-worldwide.com
E-mail：info@os-worldwide.com

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエスプラスe
コンタクトセンター：0120-212-750
https://www.os-worldwide.com/os_plus_e/
E-mail：e.info@os-worldwide.com